

平成22年度徳島県公立高等学校入学者選抜

前期選抜実施要領一覽

(案)

徳島県教育委員会
徳島市教育委員会
鳴門市教育委員会



目 次

	頁
○前期選抜実施要領について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2

○平成22年度徳島県公立高等学校入学者選抜(前期選抜)の各高等学校別実施要領

番号	高等学校名	頁
1	城東	4
2	城南	8
3	城北	13
4	城ノ内	17
5	徳島北	20
6	徳島市立	25
7	城西	29
8	城西・神山	33
9	徳島科学技術	35
10	徳島商業	41
11	小松島	45
12	小松島西	49
13	勝浦	54
14	富岡東	58
15	富岡東・羽ノ浦	62
16	富岡西	64
17	阿南工業	69
18	新野	71
19	那賀	75
20	海部	77

番号	高等学校名	頁
21	鳴門	81
22	鳴門第一	85
23	鳴門工業	88
24	板野	90
25	名西	93
26	鴨島商業	99
27	川島	101
28	阿波	104
29	阿波農業	108
30	阿波西	110
31	穴吹	112
32	脇町	115
33	美馬商業	118
34	貞光工業	121
35	辻	124
36	池田	128
37	三好	131
38	徳島中央・定時(昼間)	135
39	池田・定時	137

前期選抜実施要領について

前期選抜を実施する各高校の実施要領には、次の内容が記載されています。

- 1 学校の特色、志願してほしい生徒像、出願要件、募集割合及び募集人員
各高校が昨年公表した内容と異なっている場合もありますので、必ず確認してください。

2 出願書類

- (1) 各高校個別に必要な出願書類を記載しています。
その他、志願者から中学校長に提出する出願書類等は次のとおりです。

[志願者全員必要となる書類]

- ①入学願書、②受検票、③入学考査料、④選抜結果通知用封筒

[該当者のみ必要となる書類]

- ①所属学区変更許可願及びそれを証明する書類、②自己申告書、③志願承認書、
④県外志願承認書

- (2) ☆印のついた書類は、学校独自様式の出願書類であり、その書類は次の方法により入手することができます。

- ①志願先高校のホームページからダウンロードする。
②直接、志願先高校に行き、書類を受け取る。(学校説明会や体験入学などで配付する高校もあります。)

3 選抜資料

- (1) 調査書
調査書の「各教科の学習の記録」の評定の取り扱いについてのみ記載しています。
- (2) 教科の検査
学校指定教科の検査について、出題方針、検査教科、検査時間、配点等を記載しています。
- (3) 作文
出題方針、作文時間、字数、配点等を記載しています。

(4) 面接

個人面接・集団面接の別、面接時間などを記載しています。面接内容を記載する高校もあります。

(5) 自己表現

具体的内容を記載しています。別紙にその詳細を記載する高校もあります。

(6) 実技検査

具体的内容を記載しています。別紙にその詳細を記載する高校もあります。

(7) 活動の記録

志願者が「中学校時代の学校内外の活動の記録」に記入する内容について記載しています。

4 日程

(1) 前期選抜第1日は平成22年2月4日(木)に、第2日は平成22年2月5日(金)に実施されます。本冊子中にある〔第1日〕は2月4日(木)を、〔第2日〕は2月5日(金)を、それぞれ示しています。

(2) 出願要件ごとに実施日や検査時間が異なる場合があります。

5 携行品

受検票や筆記用具など、検査日当日の携行品を記載しています。

自己表現や実技検査については、別紙に携行品を記載する高校もあります。

6 その他

(1) 本冊子の内容は各高校のホームページでも見ることができます。

また、ホームページの中で、実施要領の補足的な説明のある高校もあります。

(2) 出願の手続、選抜結果の通知など、前期選抜に関してすべての高校に共通する内容については、「平成22年度徳島県公立高等学校生徒募集選抜要項」に記載しています。

なお、「平成22年度徳島県公立高等学校生徒募集選抜要項」については、冊子として配付するほか、県のホームページにも掲載しています。

1 城東高等学校

1 学校の特色

- ①生徒一人ひとりの目標・夢の実現をめざすとともに、郷土を担い、国際社会に羽ばたける人材の育成を図る。そのために、学力と人間力を鍛え、真に生きる力を培うことを教育活動の根幹に据える。
- ②生徒の多様なニーズに応えるとともに、明確な目標を持って高校生活を送れるよう、1年次より、数理・人文社会・文理の3コースを設ける。
- ③Dreams Come True (夢の実現) を進路指導の中核に据え、自らの進路を主体的に決定できる資質を培う。

2 志願してほしい生徒像

- 「学力と人間力を鍛え、将来はリーダーとして社会に貢献しようとする意欲にあふれた生徒。」
- 進路に対する明確な目的意識をもち、その実現に向けて努力を続けることができる生徒。
 - 全教科にわたり優れた成績をおさめ、入学後も旺盛な知識欲と探究心によって、高い学力を身につけようとする生徒。
 - 教科学習とともに部活動に対しても積極的に取り組んだ実績を有し、本校でも続けて取り組み、文武両道を成し遂げようとする生徒。
- (コース別生徒像)
- 数理コース : 理系(数学・理科)分野に興味・関心があり、将来、医学・歯学・薬学・農学・工学・理学などの方面に進みたい生徒
 - 人文社会コース : 文系(社会・英語・国語)分野に興味・関心があり、将来、法学・政治学・経済学・文学・心理学・言語学などの方面に進みたい生徒
 - 文理コース : 2年次より文系・理系を選択し、将来その方面に進みたい生徒

3 出願要件

要件	出 願 要 件 内 容
ア	確かな基礎学力があり、科学的思考力・論理的思考力等を持ち、入学後、選択したコースで能力を伸ばしたい者。
イ	一定の基礎学力があり、次の諸活動に顕著な実績をあげ、入学後もその活動を継続する意志のある者。 ①芸術・文化(オーケストラ) ②体育・スポーツ(男子バスケットボール, 硬式野球, ラグビー, 男子バレーボール, 女子サッカー) ③ボランティア, 人権
ウ	一定の基礎学力があり、女子バドミントンで顕著な実績をあげ、入学後も全国大会上位入賞を目指し、精一杯努力を積み重ねる意志のある者。

4 募集割合及び募集人員

学 科	募集割合(学科の募集定員に占める割合)及び募集人員			
	出願要件ア	出願要件イ	出願要件ウ	前期募集割合
普通科	23%程度	6%程度	女子バドミントン5人程度	30%以内

出願要件イについては次に示した各分野・種目別の募集目標人数を募集の目安とします。
 オーケストラ：3人程度、男子バスケットボール：4人程度、硬式野球：4人程度
 ラグビー：4人程度、男子バレーボール：2人程度、女子サッカー：2人程度
 ボランティア、人権：2人程度
 注) 募集定員・受検者数・受検者の活動実績等により、変更することがあります。

5 出願書類(各高校個別の書類, ☆印のついた書類は学校独自様式)

出願要件ア	①志望理由書
出願要件イ	①自己表現調査票, ②☆中学校時代の学校内外の活動の記録
出願要件ウ	①自己表現調査票, ②☆中学校時代の学校内外の活動の記録

6 選抜資料

(1) 出願要件ア

選抜資料	内 容
調 査 書	国語, 社会, 数学, 理科, 英語の5教科の評定を重視する。第3学年の評定を重視する。
教科の検査	中学校の学習内容をふまえ, それを総合的, 応用的に活用する力を問う問題を出題する。 英語: 50分【配点: 100点】 数学: 50分【配点: 100点】 計200点
面 接	集団面接(1グループ7人程度: 15分程度)

(2) 出願要件イ

選抜資料	内 容
調 査 書	各教科の評定を同等にみる。第3学年の評定を重視する。
教科の検査	中学校の学習内容をふまえ, それを総合的, 応用的に活用する力を問う問題を出題する。英語: 50分【配点: 100点】
自己表現	具体的内容については, 別紙を参照のこと。
活動の記録	「種目・分野名」, 「活動状況」, 「実績」などを記入する。 出願要件イの③に限り, 「活動状況」, 「実績」を示す書類(賞状, 新聞記事などのコピー)を, 本校指定用紙に貼付すること。

(3) 出願要件ウ

選抜資料	内 容
調 査 書	各教科の評定を同等にみる。第3学年の評定を重視する。
教科の検査	中学校の学習内容をふまえ, それを総合的, 応用的に活用する力を問う問題を出題する。英語: 50分【配点: 50点】
自己表現	具体的内容については, 別紙を参照のこと。
活動の記録	「種目・分野名」, 「活動状況」, 「実績」などを記入する。

※出願要件イの①・②および出願要件ウについては, 「活動の記録」の「活動状況」, 「実績」を示す書類を, 本校指定用紙に貼付して提出する必要はありません。

7 日程

	出願要件ア	出願要件イ	出願要件ウ
8:20	集合（本校体育館）		
8:20～ 8:40	出欠点検・諸連絡		
9:20～10:10	英 語		
10:30～11:20	数 学	自己表現（面接）	
11:20～12:10	昼 食		
12:10～12:20	出欠点検・諸連絡		
12:25～	面 接		

8 携行品

受検票，筆記用具（鉛筆類，定規，コンパス，消しゴム，鉛筆削り，筆入れ），
昼食（出願要件アの受検者のみ）

（注1）筆記用具は，公式又は法則等を記載したもの及び計算機付きのものは認めません。

なお，分度器（分度器付き定規を含みます），計算機，電訳機・計算機付き時計及び
携帯電話などの移動通信機器も認めません。

（注2）出願要件イ，ウの自己表現に必要な携行品は，別紙「自己表現の具体的内容」を見て
ください。

自己表現の具体的内容

1 自己表現内容

志願者の体験，特技などに基づき，自己表現し，それを話題に面接を行います。

2 時間

自己表現：出願要件イの芸術・文化のオーケストラは5分程度，ボランティア，人権は10分程度，出願要件イの体育・スポーツと出願要件ウは種目によって時間が異なります。

面接：出願要件および分野によって時間が異なります。

3 自己表現分野，実施場所，実施内容，携行品

(1) 出願要件イ

	分野	実施場所	実施内容	携行品
芸術・文化	オーケストラ	音楽教室	オーケストラで通常使用する楽器の独奏(自由曲)・面接	使用する楽器
	男子バスケットボール	体育館	パス・ドリブル・シュート・面接	体操服(ユニフォーム) 体育館シューズ
体育・スポーツ	硬式野球	グラウンド(晴天時)	ソフトボール投げ・27m走・立ち三段跳び・面接	体操服(ユニフォーム) グラウンドシューズ
		体育館(雨天時)	ハンドボール投げ・27m走・立ち三段跳び・面接	体育館シューズ
	ラグビー	体育館	ボールキャッチ・20m走・面接	体操服(ユニフォーム) 体育館シューズ
	男子バレーボール	体育館	パス・ランニングジャンプ・立ち三段跳び・面接	体操服(ユニフォーム) 体育館シューズ
	女子サッカー	グラウンド(晴天時)	パス・ドリブル・20m走・面接	体操服(ユニフォーム) グラウンドシューズ
体育館(雨天時)		パス・ドリブル・20m走・面接	体育館シューズ	
ボランティア	普通教室	活動内容についての意見発表		
人権	普通教室	・面接		

(2) 出願要件ウ

	分野	実施場所	実施内容	携行品
	女子バドミントン	体育館	基礎打ち・面接	ラケット 体操服(ユニフォーム) 体育館シューズ

4 本校が準備するもの

- (1) 出願要件イ 芸術・文化
体育・スポーツ

[オーケストラ：譜面台]
[男子バスケットボール：ボール(7号球)]
[硬式野球：ソフトボール(晴天時)，ハンドボール(雨天時)]
[ラグビー：ボール]，[男子バレーボール：ボール]
[女子サッカー：ボール]

※ボランティア，人権の分野は，口頭での意見発表となりますので，本校が準備するものではありません。

- (2) 出願要件ウ

[女子バドミントン：シャトル]

5 注意事項

- (1) ボランティア，人権の分野の意見発表の際，事前に用意した原稿やメモを読んではいけません。
- (2) 自己表現の内容は，出願時に別紙自己表現調査票(統一様式)により申告してください。
- (3) 不明な点は中学校を通じて，本校まで問い合わせてください。

2 城南高等学校

1 学校の特色

- ① 城南高校は、創立134周年をむかえた「県内で最も古い歴史と伝統」を持つ高校です。卒業生は、国の内外、各界において活躍しています。また、生徒たちは、自主・自立の校風を受け継ぎながら、勉学やスポーツ、文化芸術活動などに意欲的に取り組み、充実した高校生活を送っています。伝統行事に、59年間続いている「ファイアー・ストーム」があり、体育祭後の夜、燃え盛るやぐらを囲み、歌い、踊り、青春のエネルギーを燃焼させています。
- ② 城南高校は、昨秋に新校舎の建設を終えました。4階建て、南北の幅約30メートル、東西の長さ約140メートル、全教室冷暖房完備の素晴らしい校舎です。また、平成19年度入学生から新制服を採用しており、今年度、全生徒の制服が新制服で統一されました。
- ③ 城南高校は、平成15年度に文部科学省から、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)研究開発校に指定され、現在7年目の活動に入っています。さらに、平成18年度には、SSHの実践成果を生かす新学科として「応用数理科」を設置し、今春、初めての卒業生を送り出しました。応用数理科では、SSH研究開発校ならではの「基礎実験」、「総合科学」、「科学英語」といった特徴のある授業を展開しながら、将来、世界的にも活躍できる科学者や技術者、理数教育者の育成をめざしています。カリキュラムは、医歯薬系を始めとする理科系学部への進学に適したものとなっています。
- ④ 城南高校は、「あなたの夢をかなえる学校」です。弾力的なコース設定とカリキュラム編成で生徒の多様な進路希望に対応しています。また、希望者には進学補習を行い、土曜日の自習教室開放を実施しています。部活動にも多くの生徒が参加し、文武両道の精神で勉学との両立を図り、四国大会や全国大会に出場するなど大きな成果をあげています。

2 志願してほしい生徒像

(1) 普通科、応用数理科に共通する生徒像

- ① 「夢を持った生徒」——たとえ小さくても自分の将来の夢(理想)を持っている生徒
- ② 「たくましく、ひたむき生徒」——夢(理想)の実現や、その他、何事に対しても最後まであきらめず、元気に粘り強く頑張り抜こうとする強い意志を持っている生徒
- ③ 「さわやかで心豊かな生徒」——広く篤く友情を育み、好ましい人間関係を培い、仲間と支え合い共に向上しようとする優しい心を持っている生徒
- ④ 「『城南で頑張るぞ』という強い決意のある生徒」——高校生活の3年間で、ぜひ、城南高校で勉学や部活動に頑張りたいと決意している生徒

(2) 普通科に志願してほしい生徒像

- ① たとえ将来の進路は未定であっても、各教科の学習にまじめに取り組み、高校で学習していく中で進路を決定していこうと考えている生徒
- ② 部活動のみならず、教科の学習に積極的に取り組み、固い意志を持って文武両道を実現しようと考えている生徒

(3) 応用数理科に志願してほしい生徒像

- ① 理系教科に興味・関心があり、将来は自然科学(医学・歯学・薬学・農学・工学・理学など)の分野で活躍したいと考えている生徒
- ② 理科の観察や実験、数学の諸分野に興味・関心があり、高校においても理科や数学の様々な学習活動を通して、将来自らのめざす分野で活躍するために必要な知識や技能を身につけたいと考えている生徒

3 出願要件

要件	学 科	出 願 要 件 内 容
ア	普 通 科	文系分野あるいは理系分野に強い興味や関心があり、自己の進路実現に向け積極的・継続的に努力できる者。
	応用数理科	数学や理科に強い興味や関心があり、将来は科学技術の分野や医学・生命科学の分野で活躍したいと考えている者。
イ	普 通 科	人物が優れ、基礎学力があり、体育・スポーツ（硬式野球，男女陸上競技，男子バスケットボール，男女卓球），芸術・文化（美術），ボランティア活動，人権活動のいずれかで積極的・継続的に活動し，高校生活でそれをさらに伸ばそうとする者であり，勉学との両立が図れる者。
ウ	普 通 科	人物が優れ，基礎学力があり，女子バレーボール又は男子テニスにおける技術に優れ，積極的・継続的に活動し，高校生活でそれをさらに伸ばそうとする者であり，勉学との両立が図れる者。

4 募集割合及び募集人員

学 科	募集割合(学科の募集定員に占める割合)及び募集人員			
	出願要件ア	出願要件イ	出願要件ウ	前期募集割合
普 通 科	22%程度	4%程度	女子バレーボール6人程度 男子テニス5人程度	30%以内
応用数理科	50%以内	—	—	50%以内

出願要件イについては次に示した各分野・種目別の人数を募集の目安とします。

硬式野球：5人程度，男女陸上競技：2人程度，男子バスケットボール：1人程度

男女卓球：2人程度，芸術・文化(美術)，ボランティア活動，人権活動：1人程度

注) 募集定員・受検者数等により，変更することがあります。

5 出願書類（各高校個別の書類）

出願要件ア	①志望理由書（応用数理科は自己の活動状況の「実績・結果」を示す賞状，新聞記事などの書類があれば，A4サイズのコピーで添付すること。）
出願要件イ	①志望理由書，②自己表現調査票，③中学校時代の学校内外の活動の記録
出願要件ウ	①志望理由書，②自己表現調査票，③中学校時代の学校内外の活動の記録

6 選抜資料

(1) 出願要件ア

①普通科

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科、各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校段階の基礎・基本を踏まえ、それを総合的に活用する力を問う問題を出題する。 総合問題A（英・国・社を中心に）：60分【配点：100点】 総合問題B（英・数・理を中心に）：60分【配点：100点】 計200点
面 接	集団面接（1グループ5人で15分程度、同一の質問をし一人ひとりがそれに応答する形式で、討論形式はとらない）を行う。

②応用数理科

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科、各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校段階の基礎・基本を踏まえ、それを総合的、応用的に活用する力を問う問題を出題する。 総合問題A（英・国・社を中心に）：60分【配点：100点】 総合問題C（英・数・理を中心に）：60分【配点：100点】 計200点
面 接	集団面接（1グループ5人で15分程度、同一の質問をし一人ひとりがそれに応答する形式で、討論形式はとらない）を行う。

(2) 出願要件イ

①普通科

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科、各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校段階の基礎・基本を踏まえ、それを総合的に活用する力を問う問題を出題する。 総合問題A（英・国・社を中心に）：60分【配点：50点】 総合問題B（英・数・理を中心に）：60分【配点：50点】 計100点
自己表現	前もって具体的な自己表現内容を申告し、それについての発表を行う。具体的内容については、別紙を参照のこと。
活動の記録	「活動名（分野・種目名）」、「活動状況」、「実績・結果」などを記入する。 なお、「活動状況」、「実績」を示す書類（賞状、新聞記事、技能検定の証明などのコピー）があれば添付すること。

(3) 出願要件ウ

①普通科

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科，各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校段階の基礎・基本を踏まえ，それを総合的に活用する力を問う問題を出題する。 総合問題A（英・国・社を中心に）：60分【配点：50点】 総合問題B（英・数・理を中心に）：60分【配点：50点】 計100点
自己表現	前もって具体的な自己表現内容を申告し，それについての発表を行う。具体的内容については，別紙を参照のこと。
活動の記録	「活動名（分野・種目名）」，「活動状況」，「実績・結果」などを記入する。 なお，「活動状況」，「実績」を示す書類（賞状，新聞記事，技能検定の証明などのコピー）があれば添付すること。

7 日程

[第1日]

	出願要件ア		出願要件イ	出願要件ウ
	普通科	応用数理科	普通科	
～ 9：00	集合（本校体育館2階）			
9：00～ 9：15	出欠点呼・諸連絡			
9：20～ 9：40	検査場入場・諸連絡			
9：40～10：40	総合問題A			
11：00～12：00	総合問題B	総合問題C	総合問題B	
12：00～12：50	昼食			
12：50	集合（本校体育館2階）			
12：50～13：10	検査場入場・諸連絡			
13：10～	面接		自己表現	

8 携行品

<p>受検票，筆記用具（鉛筆類，消ゴム，鉛筆削り，コンパス，定規，筆入れ），上履き，下足入れ袋，昼食</p> <p>(注) 筆記用具は，公式又は法則等を記載したもの及び計算機付きのものであってはならない。分度器[分度器付き定規を含む]，計算機，電訳機・計算機付き時計及び携帯電話などの移動通信機器は検査場に持ち込めない。</p> <p>(注) 出願要件イ，ウの自己表現に必要な携行品は，別紙「自己表現の具体的内容」を見てください。</p>

自己表現の具体的内容

(1) 自己表現内容

志願者の体験、特技などに基づき下記の内容により自己表現をし、それを話題に面接を行う。

(2) 要件イの自己表現分野と実施場所・実施内容の概要

分野(種目等)	場所	主な内容	携行品	時間
体育・スポーツ	硬式野球	グラウンド ※雨天時は体育館2F (晴天時) 30m走・ソフトボール投げ・立ち幅とび (雨天時) 20m走・ハンドボール投げ・立ち幅とび	野球ができる服装とシューズ ※雨天時は体育館シューズ	30分程度
	男女陸上競技	グラウンド ※雨天時は体育館2F 反復横とび・立ち3段とび・50m走(雨天時は20m走)・個人専門種目	陸上競技種目ができる服装とシューズ ※雨天時は体育館シューズ	
	男子バスケットボール	体育館2F パス・シュート・ドリブル・ミニゲーム	バスケットボールができる服装とシューズ	
	男女卓球	体育館1F ドライブ(カット)・切りかえし・フットワーク	卓球ができる服装、シューズとラケット	
芸術・文化	美術	美術室 鉛筆・色鉛筆によるイラストレーション制作(自由テーマ20分以内)	制作に使用する鉛筆・色鉛筆	30分程度
ボランティア活動 人権活動	教室	自己PR(志望理由書及び中学校時代の学校内外の活動の記録をもとに行う。)	なし	10分程度

(3) 要件ウの指定競技と実施場所・実施内容の概要

指定競技	場所	主な内容	携行品	時間
女子バレーボール	体育館2F	パス・レシーブ・スパイク・ミニゲーム	バレーボールができる服装とシューズ	30分程度
男子テニス	テニスコート ※雨天時は体育館2F	ストローク・ボレー・サーブ	ラケット テニスができる服装とシューズ ※雨天時は体育館シューズ	

(4) 注意事項

- ア 自己表現の希望については、出願時に自己表現調査票に記入し提出すること。
- イ 芸術・文化(美術)の自己表現で使用使用する鉛筆・色鉛筆と消しゴムは、原則として受検者が準備する。イラストレーションを描くための用紙(A4ケント紙)は本校で準備する。
- ウ 自己表現に必要な用具・道具等については、原則として受検者が準備する。
例：体操服(中学校のもの)・体育館シューズ・防寒着等

3 城北高等学校

1 学校の特色

- 創立70年を迎えようとしている確かな伝統と校是「為せば成る」のもと、県下有数の進学実績を誇るとともに、部活動等の生徒の自主活動もたいへん活発に行われています。
- 日々の教育活動において、次代を担う幅広く調和のとれた、人間性豊かな人材の育成を目指します。
- 「進学重視型単位制」を導入し、「習熟度指導」や「少人数指導」、「Team Teaching」により、主体的な学習意欲を引き出し、基礎・基本の定着とともに発展応用的な学力の育成を図っています。
- 「コースアドバイザー」を配置し、長年積み重ねてきた進路指導のノウハウと、きめ細かな進路指導により、一人ひとりの「夢」を「実現」へと導きます。

2 志願してほしい生徒像

- 「為せば成る」の精神で、自らの理想や目標に向かって継続して努力しようとする生徒。
- 学問に対する興味・関心が強く、積極的に学習に取り組み、自ら学び続けようとする生徒。
- 多様な価値観を尊重し、科学的な認識と柔軟な思考ができ、自分の考えを的確に表現しようとする生徒。
- 中学校時代に学業と部活動の両立に努め、入学後も継続しさらに充実させようとする生徒。

3 出願要件

要件	出 願 要 件 内 容
ア	<ul style="list-style-type: none"> ○幅広く調和のとれた人間性と高い学力水準を有し、自己実現に向けて努力し、高校生活に積極的に取り組むことのできる生徒。 ○文章や図表等の内容を深く理解し、筋道を立て論理的に事象を考察し、自分の考えを表現する力を持つ生徒。
イ	<ul style="list-style-type: none"> ○調和のとれた人間性と基礎学力を有し、中学校時代に次のいずれかにおいて、積極的かつ継続的に活動し、入学後も志願した部活動を継続し、学業と両立させ、活躍が期待できる生徒。 ①「人形浄瑠璃」・・・中学校の部活動で活動、または阿波人形浄瑠璃振興会に登録の座、及び同等の技能を持つと認められる座で活動。 ②「男女剣道」、「男女ソフトテニス」、「野球」、「男子サッカー」・・・団体の場合は県大会でベスト8以上の部のレギュラー選手。個人の場合は県大会でベスト16以上、県中学校優秀選手など。 ③「女子ハンドボール」、「ラグビー」・・・中学校で何かの体育部において実績をあげた生徒で、優れた技術や能力を持っている生徒。 ④「吹奏楽」、「合唱」、「ボランティア活動」、「人権活動」・・・個人の技術や技能に優れている生徒。リーダーシップを発揮したり、実績をあげた生徒。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ○調和のとれた人間性と基礎学力を有し、全国大会等で活躍しようとする高い目標を持ち、その技術や能力を将来の進路に生かしていこうという強い意志と意欲を持つ生徒。 ・「女子バスケットボール」・・・県大会でベスト8以上の部のレギュラー選手、県中学校優秀選手、優れた技術や身体的能力を持っている選手など。

4 募集割合及び募集人員

学 科	募集割合(学科の募集定員に占める割合)及び募集人員			
	出願要件ア	出願要件イ	出願要件ウ	前期募集割合
普通科	23%程度	5%程度	女子バスケットボール 7人程度	30%以内

※出願要件イにおける合格者数は、受検者数や検査の結果により、必ずしも募集割合及び募集人員と一致するものではありません。

人形浄瑠璃・男女剣道・女子ハンドボールで3%程度、吹奏楽・合唱・野球・男子サッカー・ラグビー・男女ソフトテニス・ボランティア・人権で2%程度を目安とする。

5 出願書類(各高校個別の書類)

出願要件ア	なし
出願要件イ	①自己表現調査票、②中学校時代の学校内外の活動の記録
出願要件ウ	①中学校時代の学校内外の活動の記録

6 選抜資料

(1) 出願要件ア

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科、各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校での学習内容に基づき、総合的な基礎学力、応用力を問う問題を出題する。 総合問題Ⅰ(国語・社会・英語を中心とする問題): 60分【配点: 150点】 総合問題Ⅱ(数学・理科・英語を中心とする問題): 60分【配点: 150点】 計300点

(2) 出願要件イ

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科、各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校での学習内容に基づき、総合的な基礎学力、応用力を問う問題を出題する。 総合問題Ⅰ(国語・社会・英語を中心とする問題): 60分【配点: 100点】 総合問題Ⅱ(数学・理科・英語を中心とする問題): 60分【配点: 100点】 計200点
自己表現	具体的内容については、別紙を参照のこと。
活動の記録	「種目・分野名」、「活動状況」、「実績」などを具体的に記入する。 なお、「活動状況」、「実績」を示す書類(賞状、新聞記事、技能検定の証明などのコピー)があれば、上位3種類以内をA4判の大きさにして添付すること。

(3) 出願要件ウ

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科，各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校での学習内容に基づき，基礎学力を問う問題を出題する。 総合問題Ⅲ（国語・社会・数学・理科・英語の5教科の基礎学力を問う内容） ：60分【配点：100点】
自 己 表 現	具体的内容については，別紙を参照のこと。
活動の記録	「種目・分野名」，「活動状況」，「実績」などを具体的に記入する。 なお，「活動状況」，「実績」を示す書類（賞状，新聞記事の証明などのコピー）があれば，上位3種類以内をA4判の大きさにして添付すること。

7 日程

[第1日]

	出願要件ア	出願要件イ	出願要件ウ
8:50	集合(本校体育館)		
9:00～ 9:15	諸連絡		
9:35～10:35	総合問題Ⅰ		総合問題Ⅲ
10:50～11:50	総合問題Ⅱ		自己表現
11:50～12:40		昼食・休憩	
12:50～		自己表現	

8 携行品

受検票，筆記用具（鉛筆類，消しゴム，鉛筆削り，コンパス，定規，筆入れ），上履き，下足入れ袋，昼食（出願要件イの受検生のみ）

(注) 筆記用具は，公式又は法則等を記載したもの及び計算機付きのものであってはならない。分度器 [分度器付き定規を含む]，計算機，電訳機・計算機付き時計及び携帯電話などの移動通信機器は検査場に持ち込めない。

(注) 出願要件イ，ウの自己表現に必要な携行品は，別紙「自己表現の具体的内容」を見てください。

自己表現の具体的内容

1 自己表現内容

志願者の体験、特技などに基づき、自己表現し、それを話題に面接を行う。

2 時間

自己表現：10分程度（人形浄瑠璃の実演、楽器の演奏は3分程度）

面接：個人面接で5分程度

3 分野、実施場所、内容、携行品

分野	実施場所	内容	携行品
人形浄瑠璃	人形会館	実演（人形については、立ち座りなどの基本動作）	なし
音楽	音楽室	声楽、器楽等による任意演奏（暗譜）	楽器、伴奏を録音したMDなど必要なもの
女子バスケットボール	体育館	パス、ドリブル、シュート	体操服・バスケットシューズ
男女剣道	剣道場	素振り、切り返し、基本打ち	竹刀・防具等一式
女子ハンドボール	グラウンド (雨天時体育館)	ハンドボール長座投げ、3.0m走、立ち5段とび、背筋力、握力	体操服・運動靴 体育館シューズ
野球	グラウンド (雨天時体育館)	5.0m走、反復横跳び、ソフトボール投げ (ハンドボール長座投げ、反復横跳び)	体操服・運動靴 体育館シューズ
男子サッカー	グラウンド (雨天時体育館)	5.0m走、反復横跳び、ドリブル、シュート (シャトルラン、反復横跳び)	体操服・運動靴 体育館シューズ
ラグビー	グラウンド (雨天時体育館)	5.0m走、反復横跳び、パス、キャッチ (ハンドボール長座投げ、反復横跳び)	体操服・運動靴 体育館シューズ
男女ソフトテニス	グラウンド (雨天時体育館)	5.0m走、反復横跳び、ストローク (シャトルラン、ストローク、反復横跳び)	体操服・運動靴 体育館シューズ ソフトテニスラケット
ボランティア活動 人権活動	普通教室	中学校時代の活動実績や高校入学後の活動への抱負について、自己アピール	発表に必要であれば事前に作成した模造紙など

4 本校において準備できるもの

ア 普通教室：チョーク・マグネット

なお、板書や、事前に模造紙に活動内容を示し、説明することも可能です。

イ 音楽教室：ピアノ・CDプレーヤー・MDプレーヤー（LPモードは不可）

ウ 人形会館：人形・三味線

エ グラウンド：ハンドボール・ソフトボール・サッカーボール・ラグビーボール・ソフトテニスボール

オ 体育館：ハンドボール

5 注意事項

ア 発表や検査に必要な道具類は、原則として受検者が用意してください。用意できない場合には、在籍(出身)中学校を通じて、本校まで問い合わせてください。

イ 別紙「自己表現調査票」の「自己表現内容」については、人形浄瑠璃の受検者は実演する内容を、音楽の受検者は声楽と器楽の別、及び演奏曲目、楽器名を記入してください。「体育・スポーツ」分野の受検者は、記入の必要はありません。「ボランティア活動」、「人権活動」分野の受検者は、発表内容と方法について記入してください。

ウ 「本人が準備するもの」の欄には、受検者が当日準備し持参するものを記入してください。

4 城ノ内高等学校

1 学校の特徴

高校三年間で何を学び、いかに活動するかということは、自分の将来に大きな影響を及ぼす重要なことです。今はボンヤリとした夢であっても、学年の進行とともに具体化し、実現させたい希望や目標となっていきます。段階的に分岐し、多様化する進路希望に適宜対応していくために、本校では類型制を採用しています。また、学習活動の充実を図るとともに、少人数指導や習熟度別学習を数多く取り入れながら、きめ細かな指導の充実にも取り組んでいます。

- ・県内全域から集まる仲間が切磋琢磨する中で、あらゆる教育活動を通して、豊かな人間性、国際性、創造性を育みます。
- ・基礎・基本の定着を図るとともに、進路・進度・習熟度に応じた、到達目標別の授業を展開することにより、応用力も磨きます。
- ・海外語学研修などと連動して異文化に触れる機会を設け、国際化社会に対応した人材を育てます。
- ・学校行事や部活動、さらには、ヨット研修やゴルフ研修などの体験的活動を通して、豊かな人間性を育みます。
- ・難関大学・学部への進学をめざした類型の設定をはじめ、個々の進路希望の実現をサポートする教育を行います。
- ・自分自身の興味や関心を見定めて、進むべき道(進路)を見つけていくことを目的とした総合的な学習の時間「未来設計」を充実させています。

2 志願してほしい生徒像

多様な価値観を尊重しながら、自己の考えや意志を積極的に表現していこうとする生徒で、以下のいずれかの項目に該当する者。

- ・国際社会で活躍しようとする夢をもち、英語に対する興味や関心が高く、さらにその実践力を伸ばしていこうとする生徒。
- ・自然や科学技術に強い関心をもち、理科や数学が得意で、さらにその力を伸ばすために、主体的に考えたり、探究していこうとする生徒。
- ・部活動、ボランティア活動、人権活動や生徒会活動に積極的に取り組んだ経験があり、入学後も活動を続けていこうとする生徒。

3 出願要件

要件	出 願 要 件 内 容
ア	自己の将来に向けて高い志をもち、確かな基礎学力をもとに、応用力や実践力を身に付けていこうとする熱意があり、自己の夢や希望の実現に向かって、日々の学習活動に熱心に、また、根気強く取り組んでいこうとする意欲のある者。
イ	学習活動に熱心に取り組みながら、次の①または②の項目に該当する者。 ①体育・スポーツ（男子硬式野球、男子サッカー、男子柔道、女子陸上）のいずれかで中学校時代に顕著な実績があり、高校入学後もその技術をさらに伸ばしていこうとする者。 ②芸術・文化、ボランティア活動、人権活動、生徒会活動のいずれかで中学校時代に積極的・継続的に活動し、高校入学後もその活動を発展させていこうとする者。
ウ	中学校時代に学習活動に熱心に取り組みながら、「男子陸上」で優秀な実績を残し、高校入学後も熱心に取り組んで、その技術をさらに伸ばしていこうとする者。

4 募集割合及び募集人員

学 科	募集割合(学科の募集定員に占める割合)及び募集人員			
	出願要件ア	出願要件イ	出願要件ウ	前期募集割合
普通科	20%程度	7%程度	男子陸上3人程度	30%以内

出願要件イについては、次に示した各分野・種目から、それぞれ1～2名程度を募集します。
 なお、募集定員・受検者数等により、変更することがあります。

[体育・スポーツ(男子硬式野球, 男子サッカー, 男子柔道, 女子陸上),
 芸術・文化, ボランティア活動, 人権活動, 生徒会活動]

5 出願書類

出願要件ア	(本校個別の書類はありません)
出願要件イ	①志望理由書, ②中学校時代の学校内外の活動の記録
出願要件ウ	①志望理由書, ②中学校時代の学校内外の活動の記録

※注) すべて統一用紙を使用しますが、以下の点に注意をして下さい。

①志望理由書

(自分の将来の夢や希望を挙げ、本校でどのように実現していくのかについて述べる)

②中学校時代の学校内外の活動の記録

(中学校長による記載事項の証明をもって、賞状等の証明書類の添付に替えることができる)

6 選抜資料

(1) 出願要件ア

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	・各教科, 各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	・総合問題Ⅰは, 文章や表・グラフ等を読み取り, 筋道を立てて自分の考えを表現する力を問う内容。国語・社会・数学・理科・英語を中心とした, 教科横断的な内容で, 各教科の総合力を問う。ただし, 特別な知識を必要とするものではなく, 中学校における普段の学習内容をしっかりと身に付けておくことが重要。 ・総合問題Ⅱは, 数学・理科・英語を中心とした基礎的な知識や技能を問う内容。結果や公式にとらわれることなく論理的な思考力, 想像力や創造力を問う内容で, 応用力も問う。 総合問題Ⅰ: 60分【配点: 200点】 総合問題Ⅱ: 60分【配点: 200点】 計400点

(2) 出願要件イ

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	・各教科, 各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	・総合問題Ⅰ: 60分【配点: 100点】 内容は, 出願要件アと同じ。
面 接	・志望理由書と活動の記録をもとに, 目的意識や意欲などを聞く。 ・個人面接(1人10分程度)
活動の記録	・「活動名(分野, 競技)」, 「活動状況」, 「主な実績」などについて, 統一用紙に記入する。申告された項目の中から, 最上位の実績などについて評価する。

(3) 出願要件ウ

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	・各教科、各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	・総合問題Ⅰ：60分【配点：50点】 内容は、出願要件アと同じ。
面 接	・志望理由書と活動の記録をもとに、目的意識や意欲と、専門種目における今後の目標などを聞く。 ・個人面接（1人15分程度）
活動の記録	・「男子陸上競技のうちの専門種目」、「活動状況」、「主な実績」などについて、統一用紙に記入する。申告された実績の中から、総合的に評価する。

※注)「専門種目」の内容は、100m、110m障害、1500m、走り幅跳びなど、個人種目を書いてください。「主な実績」は専門種目における個人の実績が含まれていれば、リレー種目や他の種目を記載してもかまいません。

7 日程

[第1日]

	出 願 要 件 ア	出 願 要 件 イ・ウ
8 : 4 5	集 合 (本校体育館：8時頃より入場可)	
8 : 5 0 ~ 9 : 1 0	諸 連 絡	
9 : 3 0 ~ 1 0 : 3 0	総 合 問 題 Ⅰ	総 合 問 題 Ⅰ
1 0 : 5 0 ~ 1 1 : 5 0	総 合 問 題 Ⅱ	面 接
1 1 : 5 0 ~		

8 携行品

- 受検票
- 筆記用具(鉛筆類、定規、コンパス、消ゴム、鉛筆削り、筆入れ)
- 時計(計算機能や翻訳機能付きの時計は認めない。)
- 上履き及び下足入れ袋

(注) 筆記用具は、公式又は法則等を記載したもの及び計算機付のものであってはならない。
なお、計算機、電子翻訳機等の機器は試験場に持ち込まないこと。また、携帯電話等の移動通信機器は、電源を切って荷物の中にしまっておくこと。

5 徳島北高等学校

1 学校の特徴

- ・校風「清新はつらつ」（自主・創造・友愛に基づく若々しいチャレンジャー精神）の実現をめざしています。
- ・学習活動や体育・文化等の部活動，学校行事などに生徒が自分の意志で取り組むことをめざし，より魅力ある人間へと成長することを支援します。
- ・生徒が個性を生かし自分の意志で学べるように，多種多様な科目の選択と少人数制の授業で，きめの細かい学習支援を行います。
- ・『普通科』では「人文」「理数」「外国語」の3つのコースを設け，様々な進路志望に対応し，志望の実現を支援します。
- ・『国際英語科』では，「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール（SELHi）」で培った，内容豊富で質の高い英語教育を行います。異文化への理解を深め，コミュニケーション能力を養うことを目標とし，将来国際社会の様々な分野で活躍できる人材を育てます。

2 志願してほしい生徒像

- ・「清新はつらつ」の精神をめざそうとする生徒。
- (1) 普通科
 - ・数学や自然科学に興味・関心があり，ねばり強く探究し，真理を追究しようとする生徒。
 - ・言語や社会・文化に興味・関心があり，社会の様々な問題を論理的に解明しようとする生徒。
 - ・中学時代に部活動やボランティア，人権等の活動に積極的に取り組んだ経験があり，入学後も続けて取り組む意欲のある生徒。
- (2) 国際英語科
 - ・国際化時代に対応できる高い英語能力と豊かな国際感覚を身につけ，将来，科学技術や文化・経済などの様々な分野で国際社会に貢献しようという意欲のある生徒。
 - ・身近な問題から国際的な問題まで，グローバルな視点から考えることができ，積極的に行動し，問題の解決を図ろうとする生徒。

3 出願要件

要件	学科	出 願 要 件 内 容
ア	普通	探究心や知識欲が旺盛で，自ら積極的に学ぼうとする姿勢を有する者。 英語や数学などの学習活動に興味・関心を持って意欲的に取り組み，自分自身の考えを的確に表現でき，将来自己の進路を実現して社会に貢献しようとする意思のある者。
	国際英語	探究心や知識欲が旺盛で，自ら積極的に学ぼうとする姿勢を有する者。 総合的な学力を有し，高校入学後は英語によるコミュニケーション能力を高め，将来国際社会の一員として活躍しようとする意思のある者。
イ		一定の基礎学力を有し，次の①～④の活動に積極的，継続的に取り組み，レギュラーとして県大会等で優秀な成績をおさめた者または優れた能力を有する者。また，高校入学後も本校の部活動に所属し，その活動を継続してさらに伸ばそうとする意欲のある者。 ①芸術・文化（吹奏楽，合唱，美術，書道）， ②体育・スポーツ（男子サッカー，硬式野球，男女バスケットボール，男女陸上，男女卓球，男女柔道，男女剣道）， ③ボランティア，④人権

4 募集割合及び募集人員

学 科	募集割合(学科の募集定員に占める割合)		
	出願要件ア	出願要件イ	前期募集割合
普通科	23%程度	7%程度	30%以内
国際英語科	50%以内	—	50%以内

(注) 出願要件イの各分野・種目別の募集目標人数については、10月末に徳島県教育委員会
が本校の入学定員を発表した後、本校ホームページで追加情報として発表する。
ただし、実際の合格者数については、出願状況や選抜資料の結果に応じて変化するので、
必ずしも募集目標人数と一致するものではない。

5 出願書類(各高校個別の書類, ☆印のついた書類は学校独自様式)

出願要件ア	なし
出願要件イ	①自己表現調査票, ②☆中学校時代の学校内外の活動の記録

6 選抜資料

(1) 出願要件ア

①普通科

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科の評定を同等にみる。各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校の学習内容を踏まえ、それを総合的、応用的に活用する力を問う問題を出題する。なお、英語については、リスニングテストを含む。 英語：50分【配点：150点】 数学：50分【配点：150点】 計300点
作 文	課題文(資料を含む場合がある)について、自分の考えを表現する。 (40分400字程度)【配点：A・B・C3段階評価】
面 接	集団面接(1グループ5人：15分以内、討議形式はとらない)を行う。 志望理由や中学校生活に関することを中心に行う。

②国際英語科

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科の評定を同等にみる。各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校の学習内容を踏まえ、それを総合的、応用的に活用する力を問う問題を出題する。 英語①〈総合力(リスニングテストを含む)〉：50分【配点：100点】 英語②〈読解力・表現力〉：40分【配点：50点】 (英語②は、より高度な英語の運用力を必要とする問題を出題する。) 数学：50分【配点：150点】 計300点
面 接	集団面接(1グループ5人：15分以内、討議形式はとらない)を行う。 志望理由や中学校生活に関することを中心に行う。

※国際英語科の志願者のうち、文部科学省後援実用英語技能検定準2級以上を取得している者については、得点に5点加算する優遇措置を行う。(該当者は、調査書に必ず記載すること。)

(2) 出願要件イ

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科の評定を同等にみる。各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校の学習内容を踏まえ、それを総合的に活用する力を問う問題を出題する。 なお、英語については、リスニングテストを含む。 英語：50分【配点：50点】 数学：50分【配点：50点】 計100点
自己表現	志願者の活動歴、体験、特技などについて、実技や口頭で自己表現する。具体的内容については、別紙を参照のこと。
活動の記録	種目別・分野別の本校所定様式用の紙を使用し、「活動状況」、「実績」などを具体的に記入する。必要な項目に記入もれの無いようにすること。 なお、出願要件に関する取得資格や、入賞した大会名、その入賞記録、県優秀選手賞等は正確に記し、その事実を証明する書類(賞状、新聞記事などのコピー等)があれば、A4判にして添付すること。その際、大会規模の大きいものから順に3枚程度添付すること。(大会規模とは、全国、四国、県、郡・市等をさす。) ※該当出願項目に、中学校に部がない場合は、校外における自主活動等について記載し、中学校長の証明を受けること。

7 日程

[第1日；1日のみで行う]

	出願要件 ア		出願要件 イ	
	普通科	国際英語科	普通科	
時 間	検 査 内 容		時 間	検 査 内 容
8:30～ 8:45	集 合(本校体育館)			
8:50～ 9:00	諸 連 絡			
9:00～ 9:15	検査会場へ移動			
9:30～10:20	英語(50分)	英語①(50分)	英語(50分)	
10:35～11:25	数学(50分)			
11:40～12:20	作文(40分)	英語②(40分)	11:25～12:20	移動・昼食・更衣(準備)
12:20～13:10	昼食(50分)		12:20～	自己表現 ◎詳細は別表参照
13:10～	面 接			

◎自己表現の日程（別表）

出願要件イ 分野・種目	前半（12:20～13:20）	後半（13:30～）
①芸術・文化（吹奏楽，合唱）	準備・実技発表練習	実技を含む自己表現
①芸術・文化（美術，書道）	準備・作品制作	口頭による自己表現
②体育・スポーツ （サッカー，硬式野球）	練習・実技発表	口頭による自己表現
②体育・スポーツ （バスケットボール，陸上，卓球，柔道，剣道）	口頭による自己表現	（前半の続き）
③ボランティア，④人権	面接資料事前記入	口頭による自己表現

※ 出願要件イの志願者の前半・後半の時間は，各分野・種目別の検査場所ごとに異なるので，当日各分野・種目ごとに指示する。

8 携行品（出願要件ア，および出願要件イに共通のもの）

受検票，筆記具（鉛筆類，消ゴム，鉛筆削り，コンパス，定規，筆箱），体育館シューズ又はスリッパ（中学校で使用しているものでよい），下足入れ袋，昼食

（注）筆記用具は，公式又は法則等を記載したもの及び計算機付きのものは使用できない。分度器[分度器付き定規を含む]，計算機，電訳機，計算機付き時計及び携帯電話などの移動通信機器は検査場に持ち込めない。

（注）出願要件イの自己表現に必要な携行品については，別紙「自己表現の具体的内容」を参照のこと。

自己表現の具体的内容

(1) 自己表現分野、実施場所、分野別実施内容、携行品（受検者本人が用意するもの）

分 野	実施場所	内 容	携行品（受検者本人）
① 芸術・文化	吹奏楽	音楽教室 吹奏楽で使う管打楽器又はコントラバスにより、5分以内で得意な曲の演奏をし、口頭で自己アピールを行う。（可能な限りメロディーを演奏する）その後、面接を行う。	・実技演奏に必要な楽器、楽譜（演奏は暗譜でなくても可）等 ・無伴奏曲でない場合、伴奏を録音したカセットテープかMD 〈ただし、歌（合唱）についてはピアノの弾き語りも可〉
	合唱	中学校の教科書の中から得意な曲を一曲歌い、口頭で自己アピールを行う。その後、面接を行う。	
	美術	美術教室 課題を選択して1時間程度で八つ切り画用紙に鉛筆デッサンの作品制作をする。その後、口頭でその作品の解説をし、自己アピール・面接を行う。	・作品制作用の鉛筆（2B・HB・2H） ・消しゴム・練りゴム
	書道	書道教室 課題を選択して1時間程度で任意の作品制作をする。その後、口頭でその作品の解説をし、自己アピール・面接を行う。	・練習用の半紙 ・半紙用の大筆及び小筆 ・黒色ボールペン
② 体育・スポーツ	サッカー	グラウンド（雨天時；体育館） 実技を行う。 〔サッカー；プレスキック、8の字ドリブル（※雨天時はパス交換、8の字ドリブル）〕 〔硬式野球；30mターン走、ソフトボール(1号)投げ（スト・フォーム）〕	・体操服・スパイク（※雨天時は体育館シューズ）
	硬式野球	グラウンド（雨天時；体育館） その後、活動内容について口頭で自己アピール・面接を行う。	・体操服・シューズ（※雨天時は体育館シューズ）
	バスケットボール 陸上 卓球 柔道 剣道	普通教室 中学校時代の活動実績や高校入学後の活動への抱負について、口頭で自己アピール・面接を行う。（※実技は行わない。）	・特になし
③ボランティア活動	普通教室 中学校時代の活動内容等について、当日示されるテーマに沿って文章を書く。（40分程度） （※それを自己アピール・面接の参考資料とする。）	・特になし	
④人権活動	普通教室 その後、中学校時代の活動実績や高校入学後の活動への抱負について、口頭で自己アピール・面接を行う。		

○口頭による自己アピール・面接は、質疑応答を含み、次のように実施する。

- ア 口頭による自己アピールについては、3分程度で行うこと。ただし、吹奏楽・合唱については、1分程度で行うこと。
- イ 口頭による自己アピールの後、面接（質疑・応答）を3分程度で行う。この面接は志望理由等の一般的な質問事項を含む。

○口頭による自己アピール・面接の際、事前に用意した原稿やメモを読んではいけない。

(2) 普通教室、音楽教室等において準備できるもの（高校が用意できるもの）

- ア 普通教室 ; 黒板、チョーク
- イ 音楽教室 ; ピアノ、椅子、譜面台、カセットデッキ、MDプレーヤー、大型打楽器、コントラバス（ただし弓は各自が持参）
- ウ 美術教室 ; 画用紙、イーゼル、カルトン、クリップ
- エ 書道教室 ; 硯、文鎮、下敷、作品制作用半紙、墨液

(3) 注意事項

- ア 発表に必要な道具類は、高校で準備できるもの以外は原則として受検者が自分で用意すること。用意できない場合には在籍（出身）中学校を通じて、事前に本校まで問い合わせること。
- イ 自己表現の内容は、出願時に徳島県様式「自己表現調査票」により申告すること。（※①芸術・文化の書道、美術、②体育・スポーツの受検者は、「自己表現内容」「本人が準備するもの」については記入の必要はない。）

6 徳島市立高等学校

1 学校の特色

「学問」「スポーツ」「芸術」を本校教育の3本柱とし、文武両道をめざします。普通科では、「国際コース」「科学コース」の2コース制（2年次より）を設け、理数科では、自然科学系を中心にハイレベルな学習を展開し、それぞれ生徒の多様な能力の育成・強化を図り、世界にはばたく人材を育てます。
生徒一人ひとりが自己の将来に向け主体的に進路設計をしていく「市高レインボウプラン」を実施し、自らの進むべき道を決定できる多面的な教育活動を展開します。

2 志願してほしい生徒像

(1) 普通科

文系教科に興味を持ち、英語の総合的能力を高め、国際的な場で活躍したい生徒。
または、向上心に富み、将来人文・社会系の専門分野で活躍したい生徒。

理数教科に興味を持ち、科学的、論理的な問題解決能力を高め、将来理系の分野で活躍したい生徒。

スポーツ、芸術の分野またはボランティア活動、人権活動に高い興味・関心を持ち、学習との両立を図りながらその技能や活動を将来の進路に生かしていく強い意志を持つ生徒。

(2) 理数科

理数系教科を中心に、様々な学問分野に高い興味・関心を持ち、高校での学習の枠組みにとらわれない自由な発想で、科学的・論理的に課題に取り組んでいこうとする探究心旺盛な生徒。将来、得意な分野で先進的な研究を行い、社会に貢献していこうとする生徒。

3 出願要件

要件	学科	出願要件内容
ア	普通	基礎・基本を大切に、総合的な学力を備えた者で、特に「英語、国語、社会」または「英語、数学、理科」に優れた者。学習意欲旺盛で、自分の得意とする専門分野で将来活躍したい者。
	理数	様々な学問分野に興味・関心を持ち、創造的・論理的能力に富んだ者。特に、理数系教科に優れ、学術的な研究に対して意欲が高く、将来先端科学分野で活躍したい者。
イ	普通	指定分野（別紙参照）における芸術・文化、体育・スポーツ、ボランティア活動、人権活動のいずれかで積極的・継続的に活動し、顕著な実績をあげ、それらの技能や活動を高校生活でさらに伸ばし、将来の進路に生かしていこうとする者で、なおかつ中学校におけるすべての学習活動が良好である者。
ウ	普通	指定競技（男子サッカー）において顕著な実績をあげ、その技能を本校の部活動でさらに伸ばし、将来の進路に積極的に生かしていこうとする者で、部活動と学習との両立ができる者。

4 募集割合及び募集人員

学科	募集割合(学科の募集定員に占める割合)及び募集人員			
	出願要件ア	出願要件イ	出願要件ウ	前期募集割合
普通科	21%程度	5%程度	男子サッカー11人程度	30%以内
理数科	50%以内	—	—	50%以内

出願要件イについては次に示した各分野・種目別の募集目標人数を募集の目安とします。
卓球：2人程度、テニス：2人程度、バスケットボール：2人程度、ラグビー：2人程度
陸上：2人程度、ハンドボール：2人程度、音楽（オーケストラ・合唱）：2人程度
ボランティア活動・人権活動：1人程度
注）募集定員・受検者数・受検者の活動実績等により、変更することがあります。

5 出願書類(各高校個別の書類, ☆印のついた書類は学校独自様式)

出願要件ア	なし
出願要件イ	①☆中学校時代の学校内外の活動の記録, ②☆自己表現調査票
出願要件ウ	①☆中学校時代の学校内外の活動の記録

6 選抜資料

(1) 出願要件ア

①普通科

選抜資料	内 容
調 査 書	各教科, 各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校の学習内容を踏まえ, 総合的に基礎学力を問う問題を出題する。 総合問題Ⅰ (英・国・社中心に): 50分 【配点: 100点】 総合問題Ⅱ (英・数・理中心に): 50分 【配点: 100点】 計200点
作 文	与えられたテーマに基づいて, 自分の考えをまとめる。 (30分400字) 【配点: 20点】
面 接	集団面接 (1グループ5名程度, 12分程度)

②理数科

選抜資料	内 容
調 査 書	各教科, 各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校の学習内容を踏まえ, 総合的に基礎学力, 応用力を問う問題を出題する。 総合問題Ⅰ (英・国・社中心に): 50分 【配点: 100点】 総合問題Ⅲ (英・数・理応用) : 50分 【配点: 200点】 計300点
作 文	与えられたテーマに基づいて, 自分の考えをまとめる。 (30分400字) 【配点: 20点】
面 接	集団面接 (1グループ5名程度, 12分程度)

(2) 出願要件イ

①普通科

選抜資料	内 容
調 査 書	各教科, 各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校の学習内容を踏まえ, 総合的に基礎学力を問う問題を出題する。 総合問題Ⅰ (英・国・社中心に): 50分 【配点: 100点】 総合問題Ⅱ (英・数・理中心に): 50分 【配点: 100点】 計200点
作 文	与えられたテーマに基づいて, 自分の考えをまとめる。 (30分400字) 【配点: 20点】
自己表現	具体的内容については, 別紙を参照すること。
活動の記録	「種目・分野名」, 「活動状況」, 「実績」等を記入する。なお, 「活動状況」, 「実績」を示す書類 (賞状, 新聞記事, 技能検定の証明などの写し) をA4判サイズで添付すること。

(3) 出願要件ウ

①普通科

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科，各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校の学習内容を踏まえ，総合的に基礎学力を問う問題を出題する。 総合問題Ⅰ（英・国・社中心に）：50分 【配点：100点】 総合問題Ⅱ（英・数・理中心に）：50分 【配点：100点】 計200点
作 文	与えられたテーマに基づいて，自分の考えをまとめる。 （30分400字） 【配点：20点】
自己表現	サッカーの専門検査：ゲーム形式（20分程度，体育館で実施），その後，専門検査を話題に面接を実施する。 【出願要件イよりも重視する】
活動の記録	「種目・分野名」，「活動状況」，「実績」等を記入する。なお，「活動状況」，「実績」を示す書類（賞状，新聞記事，技能検定の証明などの写し）をA4判サイズで添付すること。

7 日程

[第1日]

	出願要件ア		出願要件イ	出願要件ウ
	普通科	理数科	普通科	普通科
8:15	集 合（本校体育館）			
8:25 ~ 8:45	諸 連 絡			
9:10 ~ 10:00	総 合 問 題 Ⅰ			
10:20 ~ 11:10	総合問題Ⅱ	総合問題Ⅲ	総合問題Ⅱ	総合問題Ⅱ
11:30 ~ 12:00	作 文			
12:00 ~ 12:50	昼食・休憩			
12:50 ~	面 接		自己表現	自己表現

8 携行品

受検票，鉛筆類，消しゴム，コンパス，定規，筆入れ，昼食

(注)

- ・出願要件イの自己表現に必要な携行品は，別紙「自己表現の具体的内容」を見てください。
- ・出願要件ウの自己表現に必要な携行品は，中学時の体操服，レガース，体育館シューズです。

自己表現の具体的内容（出願要件イ）

(1) 自己表現内容

志願者の体験、特技などに基づき、下記の内容について自己表現をし、それを話題に面接を行う。

(2) 分野・検査時間・検査内容・携行品

体育・スポーツ分野

分 野	検査時間	検 査 内 容	携 行 品	
卓 球	男女	20分程度	フットワーク（フォア・バック） サーブ	中学時の体操服 ラケット 体育館シューズ
テニス	男女	20分程度	ボレー対ボレー フットワークチェック・フォームチェック	中学時の体操服 ラケット 体育館シューズ
バスケット ボール	男女	20分程度	ドリブルシュート（左右） 1対1の攻防	中学時の体操服 バスケットシューズ
ラグビー	男	20分程度	パス コンタクト（ボールを持って当たること）	中学時の体操服 体育館シューズ
陸 上	男女	20分程度	30m走（タイム計測・フォームチェック） 立ち幅跳び	中学時の体操服 体育館シューズ
ハンド ボール	男女	20分程度	10mターン走 1対1の攻防（コンタクト～スタート） （受検生が多数の場合は、2対2の攻防、 または3対3の攻防）	中学時の体操服 体育館シューズ

注）体育・スポーツ分野の自己表現は体育館で実施する。

芸術・文化・ボランティア・人権分野

分 野	検査時間	検 査 内 容	携 行 品
音 楽 （オーケストラ・ 合唱）	10分以内	○オーケストラ ・得意な曲一曲をオーケストラ楽器で演奏する。 ・1オクターブの音階を2分音符で演奏する。 ○合唱 ・得意な曲一曲を独唱する。 ・1オクターブの音階を2分音符で階名唱する。	得意な楽器，楽譜
ボランティア活動 人権活動	30分以内	・中学校時代の学校内外における活動について、当日指定のテーマに沿って文章を作成する。（20分程度） ・その後、これまでの活動や入学後の抱負について、面接を行う。（10分程度）	筆記具

【注意事項】

- ① 上記の分野以外は出願できません。
- ② 検査時間は、都合により変更になることもあります。
- ③ 携行品以外、必要なものは全て徳島市立高校で用意します。
- ④ 音楽分野は、自己表現内容を出願時に別紙「自己表現調査票」により申告してください。
- ⑤ 体育・スポーツ分野、ボランティア・人権分野については、別紙「自己表現調査票」はE（自己表現内容）以外を記入してください。
- ⑥ オーケストラの楽器演奏は、次の楽器のみとします。
ヴァイオリン・ビオラ・チェロ・コントラバス・ピッコロ・フルート・オーボエ
クラリネット・ファゴット・トランペット・ホルン・トロンボーン・チューバ
打楽器（ティンパニー・小太鼓等）以上。
サクソフォーン・ユーフォonium・ピアノは含みません。

7 城西高等学校

1 学校の特色

総合学科と農業科学科があり、2学期制です。
 総合学科は、多くの普通科目や専門科目から、一人ひとりの個性や進路目標に応じた科目を自由に選択し、自分だけの時間割を作って学習します。2年次からはヒューマン系列、サイエンス系列、ケア・メディカル系列に分かれ、計画的に自己の目標を達成します。
 農業科学科は、農業系大学進学を目指すとともに、野菜、果樹、草花などの園芸作物を中心とした学習や実験・実習を通して、農業を科学的にとらえる能力や問題解決能力を育成します。

2 志願してほしい生徒像

○総合学科
 ・自分の将来を真剣に考え、自己の能力を積極的に高めようとする意欲のある生徒。
 ・特定の教科に特に興味・関心を持ち、意欲的に学習することができる生徒。
 ・中学時代に文化・体育部活動やボランティア活動、人権活動等に継続的に取り組み、入学後も継続して活動する生徒。

○農業科学科
 ・本校の学びを積極的に活かし、農業系大学で高度な技術を学ぶため進学を希望する生徒。
 ・園芸作物の栽培に継続的な興味・関心があり、体験を通して意欲的・積極的に学習したい生徒。
 ・中学時代に文化・体育部活動やボランティア活動、人権活動等に継続的に取り組み、入学後も継続して活動する生徒。

3 出願要件

要件	学科	出 願 要 件 内 容
ア	総合学科	次の①または②に該当し、かつ③を満たす者。 ①大学や専門学校等への進学を目指す者。 ②情報や芸術、福祉や看護などについて学び、進学や社会での活躍を望む者。 ③特定の教科に興味・関心を持ち、その教科が得意であり、積極的な学習意欲をもつ者。
	農業科学科	次の①または②に該当する者。 ①高度な技術を学ぶために農学部や園芸学部など農業系大学への進学を希望する者。 ②野菜・果樹・草花などの園芸作物の栽培に興味・関心を持ち、意欲的に取り組む者。
イ		人物が優れ、基礎的学力があり、次の諸活動のいずれかに中学時代を通じて2年以上積極的に取り組んでおり、入学後もその活動を継続し、さらに能力を伸ばそうとする者。 ①芸術・文化・・・音楽、美術、書道、演劇 ②体育・スポーツ・・・硬式野球、男子サッカー、男女ソフトテニス、男女剣道、男女陸上競技 ③ボランティア活動、人権活動 なお、原則として、 ・音楽については、吹奏楽部や合唱部で積極的に活動していた者 ・硬式野球については、野球部又はソフトボール部で積極的に活動していた者 ・ボランティア活動については、個人または団体の一員として継続的・積極的に活動を行い、実績をあげている者 ・人権活動については、中学時代を通じて、人権問題に、主体的・積極的に取り組み、実績をあげている者とする。

4 募集割合及び募集人員

学 科	募集割合(学科の募集定員に占める割合)		
	出願要件ア	出願要件イ	前期募集割合
総合学科	40%程度	10%程度	50%以内
農業科学科	40%程度	10%程度	50%以内

出願要件イについては次に示した各分野・種目の人数を募集の目安とします。
 硬式野球・男子サッカー・男女ソフトテニス・男女剣道・男女陸上競技 計10人程度、
 音楽・美術・書道・演劇・ボランティア・人権 計5人程度
 (注) 募集定員・受検者数等により、変動します。

5 出願書類(各高校個別の書類) 総合学科・農業科学科共通

出願要件ア	①志望理由書
出願要件イ	①志望理由書 ②自己表現調査票 ③中学校時代の学校内外の活動の記録

6 選抜資料

(1) 出願要件ア 総合学科・農業科学科共通

選抜資料	内 容
調 査 書	各教科, 各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校での学習内容に基づき, 総合的な基礎学力を問う問題を出題する。 総合問題: 60分【配点: 100点】
作 文	与えられたテーマに基づいて自分の考えをまとめる。(60分600字) 【配点: 100点】
面 接	個人面接(一人6分程度)

(2) 出願要件イ 総合学科・農業科学科共通

選抜資料	内 容
調 査 書	各教科, 各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校での学習内容に基づき, 総合的な基礎学力を問う問題を出題する。 総合問題: 60分【配点: 100点】
作 文	与えられたテーマに基づいて自分の考えをまとめる。(60分600字) 【配点: 100点】
自己表現	具体的内容については, 別紙を参照のこと。
活動の記録	「種目・分野名」, 「活動状況」, 「実績」を本人が記入。なお, 「実績」を示す書類(賞状, 新聞記事, 証明書等のコピー)があれば添付。A4判, 実績は3つまで, 枚数は2枚以内とする。

7 日程
[第1日]

	出願要件ア	出願要件イ
8:30	集 合 (本校国際経済実習室)	
8:40～ 8:50	諸 連 絡	
9:10～10:10	作 文	
10:10～10:30	休 憩	
10:30～11:30	総 合 問 題	
11:30～11:50	諸 連 絡・移 動	
11:50～12:30	昼 食・休 憩	
12:30～	面 接	自 己 表 現

8 携行品

受検票, 鉛筆類, 消ゴム, 鉛筆削り, コンパス, 定規, 上履き, 下足入れ袋, 昼食, 飲み物。
筆記用具については, 公式または法則等を記載したもの及び計算機付きのものであってはならない。
また, 分度器 (分度器付き定規を含む), 計算機, 電訳機・計算機付き時計及び携帯電話などの移動通信機器は検査場に持ち込めません。
(注) 出願要件イの自己表現に必要な携行品は, 「自己表現の具体的な内容」を見てください。

自己表現の具体的な内容（出願要件イ）

- (1) 自己表現内容
志願者の体験、特技などに基づき、自己表現し、それを話題に面接を行う。
- (2) 時間
自己表現：8分以内（体育・スポーツの実技を含む場合は10分程度、美術、書道の
実技は30分）
面接：5分程度
- (3) 自己表現分野、検査場、分野別実施内容、携行品

分 野	検 査 場	内 容	携 行 品	
芸術・文化	音楽	音楽教室	自分の得意な楽器または声楽演奏	楽器、楽譜
	美術	書道または美術教室	静物デッサン（用紙B4、鉛筆）	鉛筆、消しゴム
	書道	書道教室	当日渡される課題（半紙）	書道用具
	演劇	普通教室	台本の朗読	なし

分 野	検 査 場	内 容	携 行 品	
体育・スポーツ	硬式野球	体 育 館	垂直跳び、上体起こし、背筋力	体操服 体育館シューズ
	サッカー		8の字ドリブル、リフティング、パス	体操服 体育館シューズ
	ソフトテニス		サーブ、上体起こし、反復横跳び	体操服 体育館シューズ ラケット
	剣道		素振り、切り返し、基本打ち	剣道防具一式 竹刀（三七）
	陸上競技		垂直跳び、上体起こし、背筋力、立ち幅跳び	体操服 体育館シューズ
ボランティア活動 人権活動	音楽、美術、書道教室	自らの活動歴をふまえて、その活動に対する考えを述べる。また、今後どう取り組みたいのかについて、意見発表する。	表現に必要な物	

- (4) 高校において準備できるもの
音楽教室 ・ピアノ ・譜面台 ・チョーク
普通教室 ・マグネット ・セロテープ ・チョーク
体育館 ・ボール
- (5) 注意事項
① 発表に必要な道具類（例、差し棒）は、受検者が用意する。
② 伴奏に音楽を使用する場合は、音楽、機器類は持参すること。また、持参する楽器類は自分で運搬できる範囲にすること。
③ 自己表現の内容は、出願時に自己表現調査票により申告すること。

8 城西高等学校神山分校

1 学校の特色

- 県下で唯一の学科（造園土木科・生活科）を設置する農業の専門高校です。専門的な知識や技術を身につけるとともに、環境や緑を守り快適な生活空間を創造するスペシャリストを育成しています。
- 造園技能士や園芸装飾技能士の資格取得に全員で挑戦し、技能の向上を図っています。また、フラワー装飾技能士にも挑戦できます。
- 緑豊かな環境でのびのびと学習でき、小規模校の特性を生かして一人ひとりの個性や可能性を伸ばす教育を進めています。

2 志願してほしい生徒像

- 農業や自然に関心があり、環境の保全や創造に意欲がある生徒。
- 本学科で得た知識や技術を生かし、農業に関連した進路を希望する生徒。
- 造園技能士や園芸装飾技能士などの資格を意欲的に取得しようとする生徒。
- 基礎的学力を備え、明確な目的をもって意欲的に学校生活に取り組む生徒。

3 出願要件

要件	学科	出 願 要 件 内 容
ア	造園土木科	樹木や庭園に興味・関心があり、専門的な知識や技術を生かして、将来造園のスペシャリストとして活躍を希望する者。
	生活科	草花や環境に興味・関心があり、快適な生活空間をデザインする知識や技術を身につけ、将来有効に活用しようとする者。

4 募集割合及び募集人員

学 科	募集割合(学科の募集定員に占める割合)		
	出願要件ア	出願要件イ	前期募集割合
造園土木科	40%以内	—	40%以内
生活科	40%以内	—	40%以内

5 出願書類（各高校個別の書類）

出願要件ア	①志望理由書
-------	--------

6 選抜資料

(1) 出願要件ア 造園土木科・生活科共通

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	技術・家庭の評定を重視する。各学年の評定を同等にみる。
作 文	与えられたテーマに基づいて、自分の考えをまとめる。 (50分600字)【配点：100点】
面 接	個人面接（1人5分程度）
実 技 検 査	<p>ア 検査時間 50分</p> <p>イ. 検査内容 次に示す①と②の両方を行う。 ①指定された課題をスケッチし、気づいたこと等を書く。 ②指示された図形を描き、面積や体積等を求める。</p> <p>ウ 携行品 B又は2Bの鉛筆、三角定規、目盛付直定規15cm程度、コンパス、消しゴム、鉛筆削り</p>

7 日程

[第1日]

	出願要件ア	
	造園土木科	生活科
9:00～ 9:20	集合（城西高校神山分校）	
9:20～ 9:30	諸連絡	
9:50～10:40	作文	
11:00～11:50	実技検査	
11:50～12:35	昼食	
12:35～12:50	諸連絡	
12:50～	面接	

8 携行品

受検票、筆記用具(鉛筆類、三角定規、目盛付直定規15cm程度、コンパス、消しゴム、鉛筆削り)、上履き、昼食。

筆記用具は、公式又は法則等を記載したもの及び計算機付きのものであってはならない。

分度器 [分度器付き定規を含む]、計算機、電訳機、計算機付き時計及び携帯電話などの移動通信機器は検査場には持ち込めません。

9 徳島科学技術高等学校

1 学校の特徴

- 実験・実習などを通して理論の定着と科学的に考える力を養成するとともに、技術革新や社会の要請に対応しうる、実践力を身につけた技術者を育成する教育を展開します。
- 総合科学系は、理数系の普通教科及び専門教科の基礎科目に重点をおいて学習し、大学などで専門的に学ぶための学力を伸ばします。
- 総合技術系は、実験・実習などの体験活動を通して、専門分野に関する基礎的な知識・技術を習得し、産業界で活躍できる実践的技術者を育成します。
- 進学希望者と就職希望者の両者を支援する教育システム（ハイブリッド型教育システム）により、生徒の個性を伸ばす教育を展開します。
- 類・コース制により、1学年では各類の基礎を学習し、2学年から各コースに分かれ、専門分野の知識・技術が習得できる教育を展開します。
- 生徒の興味・関心に応じて異なるコースの科目を選択することができる総合選択制を導入します。
- 将来の進路選択につながる各種資格・検定の取得をめざします。
- 教科学習や部活動などの教育活動を通して、礼儀、責任、勤労を重視した人物本位の教育を展開し、自立できる人間を育成します。

2 志願してほしい生徒像

- 各系・類に共通する生徒像**
- 志望の動機が明確であり、高校生活にしっかりとした目標・目的意識を持った生徒。
 - 基本的な生活習慣が確立し、何事にも積極的に取り組む意欲のある生徒。
 - 中学時代に部活動、ボランティア活動、人権活動などに積極的に取り組んだ経験があり、入学後も継続して取り組む意欲のある生徒。
- 総合科学系（総合科学類、海洋科学類）**
- 理数系科目に興味・関心があり、専門分野の学習に積極的に取り組むことができる生徒。
 - 将来、工学・海洋系の大学などへ進学し、専門分野で活躍しようと考えている生徒。
- 総合技術系（機械技術類、電気技術類、建設技術類、海洋技術類）**
- 専門分野に興味・関心があり、これらの学習に積極的に取り組むことができる生徒。
 - 専門分野に関する知識・技術を身につけ、将来関連分野の技術者として活躍することを希望している生徒。
 - 専門分野に関係した資格・検定の取得に積極的に取り組むことができる生徒。

3 出願要件

要件	学科	出 願 要 件 内 容
ア	総合科学類	理数系科目に興味があり、工業に関する専門的な知識・技術を身につけ、将来工学系大学などに進学し、先端的な科学技術の分野で活躍することを希望している者。
	海洋科学類	理数系科目に興味があり、海洋に関する専門的な知識・技術を身につけ、将来海洋系大学などに進学し、先端的な科学技術の分野で活躍することを希望している者。
	機械技術類	(1) 理数系科目が好きで、機械の仕組みやロボットなどのものづくりに興味があり、将来は機械技術者として活躍したい者。 (2) 物事に根気強く取り組み、資格を積極的に取得しようとする者。

要件	学科	出願要件内容
ア	電気技術類	(1) 理数系科目が好きで、電気やコンピュータに興味があり、将来は電気技術者やIT技術者として活躍したい者。 (2) 資格取得に興味があり、3年間を通じて資格を積極的に取得しようとする者。
	建設技術類	(1) 土木・建築・デザイン関係に興味があり、将来これらの分野で技術者として活躍したい者。 (2) 土木・建築・デザイン関係の資格を積極的に取得しようとする者。
	海洋技術類	(1) 水産や海洋関係に興味があり、将来これらの分野で活躍したい者。 (2) 船舶の構造や操作、水産生物などに興味・関心がある者。
イ		基礎学力を有し、工業・海洋関係に興味・関心があり、本校におけるすべての教育活動に積極的に取り組み、次の(1)または(2)の項目に該当する者。 (1) 芸術・文化(ロボット研究)、生徒会活動、ボランティア活動、人権活動のいずれかで中学校時代に優れた実績があり、入学後も継続して活動できる者。 (2) 体育・スポーツ(陸上競技、硬式野球、ラグビー、男子バスケットボール、男子バレーボール、ウエイトリフティング、剣道、バドミントン)のいずれかで中学校時代に優れた実績があり、入学後も継続して活動できる者。
ウ		基礎学力を有し、男子ソフトテニス、男子ソフトボールにおける優れた実績があり、入学後も継続して活動できる者。また、科学技術に興味・関心があり、本校におけるすべての教育活動に積極的に取り組むとともに、特に部活動を通して心身を鍛え、全国高等学校総合体育大会や国民体育大会などで活躍する強い意志を持った者。

4 募集割合及び募集人員

学 科	募集割合(学科の募集定員に占める割合)及び募集人員			
	出願要件ア	出願要件イ	出願要件ウ	前期募集割合
総合科学類	43%程度	3%程度	男子ソフトボール1人程度 男子ソフトテニス1人程度	50%以内
海洋科学類	20%程度	10%程度	男子ソフトボール1人程度 男子ソフトテニス1人程度	50%以内
機械技術類	30%程度	15%程度	男子ソフトボール1人程度 男子ソフトテニス2人程度	50%以内
電気技術類	33%程度	12%程度	男子ソフトボール2人程度 男子ソフトテニス1人程度	50%以内
建設技術類	30%程度	14%程度	男子ソフトボール3人程度 男子ソフトテニス2人程度	50%以内
海洋技術類	30%程度	10%程度	男子ソフトボール1人程度 男子ソフトテニス1人程度	50%以内

出願要件イについては次に示した各分野・種目別の人数を募集の目安とします。

陸上競技：6人程度，硬式野球：8人程度，ラグビー：2人程度，
男子バスケットボール：2人程度，男子バレーボール：3人程度，
ウエイトリフティング：2人程度，剣道：4人程度，バドミントン：2人程度
ロボット研究：1人程度，生徒会・ボランティア：1人程度，人権：1人程度

注) 募集定員・受検者数などにより，変更することがあります。

5 出願書類（各高校個別の書類）

出願要件ア	なし
出願要件イ	①自己表現調査票，②中学校時代の学校内外の活動の記録
出願要件ウ	①自己表現調査票，②中学校時代の学校内外の活動の記録

6 選抜資料

(1) 出願要件ア

①工業科（総合科学類），水産科（海洋科学類）

選抜資料	内 容
調 査 書	各教科，各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校の学習内容を踏まえ，それを総合的，応用的に活用する力を問う問題を出題する。 数学：45分【配点：100点】 英語：45分【配点：100点】 計200点
面 接	集団面接（1グループ5人以内：15分程度）

②工業科（機械技術類，電気技術類，建設技術類），水産科（海洋技術類）

選抜資料	内 容
調 査 書	各教科，各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校の学習内容を踏まえ，それを総合的，応用的に活用する力を問う問題を出題する。 数学：45分【配点：100点】 国語：45分【配点：100点】 計200点
面 接	集団面接（1グループ5人以内：15分程度）

(2) 出願要件イ

①工業科（総合科学類，機械技術類，電気技術類，建設技術類） 水産科（海洋科学類，海洋技術類）

選抜資料	内 容
調 査 書	各教科，各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校の学習内容を踏まえ，それを総合的，応用的に活用する力を問う問題を出題する。 数学：45分【配点：100点】
自己表現	具体的内容については，別紙を参照のこと。
活動の記録	「種目・分野名」「活動状況」「実績」などを記入する。なお，「活動状況」「実績」を示す書類（賞状，新聞記事，技能検定の証明などのコピー）があればA4判サイズで添付すること。 ラグビー，ウエイトリフティングについては，他の分野，種目における「活動状況」「実績」を記入してもよい。

(3) 出願要件ウ

- ①工業科（総合科学類，機械技術類，電気技術類，建設技術類）
水産科（海洋科学類，海洋技術類）

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科，各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校の学習内容を踏まえ，それを総合的，応用的に活用する力を問う問題を出題する。 数学：45分【配点：50点】
自己表現	具体的内容については，別紙を参照のこと。
活動の記録	「種目・分野名」「活動状況」「実績」などを記入する。なお，「活動状況」「実績」を示す書類（賞状，新聞記事など）があればA4判サイズで添付すること。

7 日程

[第1日]

時 間	出願要件ア		時 間	出願要件イ		出願要件ウ	
	総合科学・ 海洋科学	機械技術・電気技術・ 建設技術・海洋技術		体育・ スポーツ以外	体育・ スポーツ		
9:00	集合（徳島科学技術高校体育館）		9:00	集合（徳島科学技術高校体育館）			
9:05～9:20	諸 連 絡		9:05～9:20	諸 連 絡			
9:40～10:25	数 学		9:40～10:25	数 学			
10:45～11:30	英 語	国 語	10:25～11:40	自己表現	自己表現	自己表現	
11:30～12:20	昼 食		11:40～12:30	/		自己表現	昼食
12:20～	面 接		12:30～13:20		昼食	自己表現	自己表現
			13:20～		自己表現		

8 携行品

- (1) 受検票，筆記用具（鉛筆類，定規，コンパス，消ゴム，鉛筆削り，筆入れ），上履き，下足入れ袋，昼食
- (2) 筆記用具は，公式又は法則などを記載したもの及び計算機付きのものであってはならない。なお，分度器[分度器付き定規を含む]，計算機，電訳機・計算機付き時計及び携帯電話などの移動通信機器は検査場には持ち込めない。
- (注) 出願要件イ，ウの自己表現に必要な携行品は，別紙「自己表現の具体的内容」を見てください。

自己表現の具体的内容

1 自己表現内容

志願者の体験，特技などに基づき，自己表現し，それを話題に面接を行う。

2 時間

出願要件イ

(体育・スポーツで硬式野球以外)

自己表現：10分程度 面接：個人面接で5分程度

(硬式野球，芸術・文化，生徒会活動，ボランティア活動，人権活動)

自己表現：5分以内 面接：個人面接で5分程度

出願要件ウ

(男子ソフトボール)

自己表現：20分程度 面接：個人面接で5分程度

(男子ソフトテニス)

自己表現：20分程度 面接：個人面接で5分程度

3 自己表現分野，実施場所，分野別実施内容

出願要件 イ

分 野	実 施 場 所	内 容	受検者が準備する物	
体 育 ・ ス ポ ー ツ	陸上競技	体育館	800m走	体操服，ランニングパンツ，ランニングシャツ 又はTシャツ，体育館シューズ
	硬式野球	普通教室	活動内容についての意見発表	
	ラグビー	体育館	20m折り返し走，ボールキャッチ	ユニホーム又は体操服， 体育館シューズ
	男子バスケットボール	体育館	反復横跳び，パス，ドリブル，シュート	体操服，バスケットシューズ
	男子バレーボール	体育館	サーブ・レシーブ，パス（オーバー・アンダー），アタック・ブロック，トス	体操服，体育館シューズ
	ウエイトリフティング	卓球場	スクワットのフォーム，筋力測定（握力，背筋力），立ち幅跳び	体操服，体育館シューズ
	剣道	剣道場	素振り，日本剣道形，基本打ち	剣道防具一式，竹刀（三七 2本）， 体操服，体育館シューズ
	バドミントン	体育館	素振り，サーブ，フットワーク	ラケット，体操服， 体育館シューズ
芸術 文化	ロボット研究	普通教室	活動内容についての意見発表 （作品持込可）	
	生徒会活動 ボランティア活動	普通教室	活動内容についての意見発表	
	人権活動	普通教室		

出願要件 ウ

分 野	実 施 場 所	内 容	受検者が準備する物
男子ソフトボール	体育館	ランニング, キャッチボール, トスパッティング, フィールドイング, バッティング(ピッチング)	ユニホーム又は体操服, 帽子, グローブ, バット, 体育館シューズ
男子ソフトテニス	体育館	ストローク, ボレー, スマッシュ, サーブ・レシーブ	ラケット, 体操服, 体育館シューズ

4 本校において準備できるもの

(1) 体育・スポーツにおいて準備できるもの

- ラグビー : ラグビーボール (認定球)
- 男子バスケットボール : バスケットボール (6号球)
- 男子バレーボール : バレーボール (4号球)
- バドミントン : シャトル (水鳥球)
- 男子ソフトボール : ソフトボール
- 男子ソフトテニス : テニスボール (赤M球)

(2) 普通教室において準備できるもの

- ・OHP
- ・マグネット
- ・ビデオデッキ
- ・ノートパソコン
- ・プロジェクター
- ・スクリーン

なお、板書や、事前に模造紙に活動内容を示し、説明することも可能。

5 注意事項

- (1) 発表に必要なものは、原則として受検者が用意する。用意できない場合には在籍(出身)中学校を通じて、徳島科学技術高校まで問い合わせること。
- (2) 出願要件イで硬式野球以外の体育・スポーツ分野及び出願要件ウで受検する場合には、体操服、体育館シューズなど各分野で使用する用具の準備をすること。
- (3) 自己表現の内容は、出願時に別紙自己表現調査票により申告すること。

10 徳島商業高等学校

1 学校の特徴

本校は、徳島県内で最も古い歴史と伝統をもつ商業高校である。類・コース制のもと、社会の変化や時代のニーズに対応したビジネス教育を展開している。1年次には、全員が普通教科はもちろん、「簿記」や「情報処理」などビジネスの基礎・基本科目を学習する。2年次からは、興味・関心、進路等に応じた6つのコースに分かれて専門性を深める。一人一人の夢の実現に向けた様々な学びを提案し、未来のスペシャリストの育成を目指している。

2 志願してほしい生徒像

- 本校への入学の意志が固く、身だしなみやあいさつなど基本的なビジネスマナーを身につけようとする生徒。
- 商品の仕入や販売、コンピュータの操作、会社の帳簿記入、会社づくりなど、ビジネスの諸活動に興味・関心があり、本校で学ぶ意欲のある生徒。
- 部活動、生徒会活動、人権活動、ボランティア活動に継続的に参加し、将来性豊かで、入学後も継続して向上しようという意欲のある生徒。

3 出願要件

要件	出 願 要 件 内 容
ア	ビジネスの諸活動に関心があり、ビジネスの専門知識を学び、各種資格に挑戦する意欲を持ち、マナーを身につけ、就職や大学進学等の進路実現に向け積極的に取り組み、継続的な努力を惜しまない者。
イ	芸術・文化、体育・スポーツ、生徒会活動、人権活動、ボランティア活動において、優れた実績や高い能力を有し、入学後も本校部活動等において意欲的に継続して活動できる者。 体育・スポーツ分野：男子野球、女子バレーボール、男子バスケットボール、男子卓球、女子ソフトボール、女子陸上、男女柔道、男女バドミントン、男女テニス、男女ソフトテニス、女子弓道 芸術・文化分野：音楽（吹奏楽、マーチング）、書道（毛筆）
ウ	次の①②を満たす者 ①学校生活において他の模範となる人間性に優れた者。 ②競技力向上スポーツ指定校における指定競技「男子サッカー」、「女子卓球」において、全国レベルの実績や能力を有し、入学後も本校部活動において意欲的・継続的に活動し、全国大会等で活躍できる者。

4 募集割合及び募集人員

学 科	募集割合(学科の募集定員に占める割合)及び募集人員			
	出願要件ア	出願要件イ	出願要件ウ	前期募集割合
総合情報ビジネス類	25%程度	19%程度	男子サッカー11人、 女子卓球6人程度	50%以内

出願要件イについては次に示した各分野・種目別の人数を募集の目安とします。

体育・スポーツ分野：男子野球（7）、女子バレーボール（3）、男子バスケットボール（3）
 男子卓球（3）、女子ソフトボール（4）、女子陸上（1）、男女柔道（5）
 男女バドミントン（3）、男女テニス（4）、男女ソフトテニス（2）
 女子弓道（1）
 芸術・文化分野：音楽（吹奏楽、マーチング）（14）、書道（毛筆）（4）
 生徒会活動、人権活動、ボランティア活動（1）

注）募集定員・受検者数等により、変更することがあります。

5 出願書類（各高校個別の書類，☆印のついた書類は学校独自様式）

出願要件ア	①☆自己表現調査票
出願要件イ	①☆自己表現調査票，②☆中学校時代の学校内外の活動の記録
出願要件ウ	①☆中学校時代の学校内外の活動の記録

6 選抜資料

(1) 出願要件ア

選抜資料	内 容
調 査 書	各教科の評定を同等にみる。第3学年の評定を重視する。
教科の検査	中学校における学習内容の定着度をみる問題を出題する。 国語：50分【配点：100点】 英語：50分【配点：100点】
自己表現	具体的内容については，別紙「自己表現実施要領」を参照のこと。

(2) 出願要件イ

選抜資料	内 容
調 査 書	各教科の評定を同等にみる。第3学年の評定を重視する。
教科の検査	中学校における学習内容の定着度をみる問題を出題する。 国語：50分【配点：50点】
自己表現	具体的内容については，別紙「自己表現実施要領」を参照のこと。
活動の記録	「活動分野(種目等)名」，「実績」，「活動内容」，「各種資格」などを記入する。

(3) 出願要件ウ

選抜資料	内 容
調 査 書	各教科の評定を同等にみる。第3学年の評定を重視する。
作 文	与えられたテーマに基づいて，自分の考えを述べる。 (作文50分400字以内)【配点：50点】
面 接	個人面接（5分程度）を行う。
活動の記録	「指定競技名」，「実績」，「各種資格」「その他特記事項」などを記入する。

7 日程
[第1日]

	出願要件ア	出願要件イ	出願要件ウ
8:20	集 合 (本校体育館)		
8:30~ 8:40	諸 連 絡		
9:00~ 9:50	国 語	国 語	作 文
10:10~11:00	英 語	自己表現	面 接
11:20~12:10	自己表現		
12:10~13:00	昼 食		
13:00~	自己表現	自己表現	面 接

[第2日]

	出願要件ア	出願要件イ	出願要件ウ
8:40~ 8:50	集 合・諸連絡 (本校体育館)		
9:00~12:00	自己表現	自己表現	面 接
12:40~12:50	集 合・諸連絡 (本校体育館)		
13:00~	自己表現	自己表現	面 接

8 携行品

<p>受検票, 筆記用具(鉛筆類, 消しゴム, 定規, 鉛筆削り), 上履き, 下靴入れ, 昼食</p> <p>(注1) 計算機, 電訳機・計算機付き時計及び携帯電話などの移動通信機器は認めない。</p> <p>(注2) 筆記用具は, 公式又は法則等を記載したもの及び計算機付きのものであってはならない。</p> <p>(注3) 昼食は, 出願要件ア, イのうち, 「第1日 自己表現が13:00~の者」及び出願要件ウのうち, 「第1日 面接が13:00~の者」のみ必要とする。</p> <p>なお, 出願要件ア, イの自己表現に必要な携行品は, 別紙「自己表現実施要領」を見てください。</p>
--

自己表現実施要領

1 実施方法

- ・全員が意見発表による自己表現を行う。
- ・各自のテーマにより、資料を使って3分以内で口頭発表を行い、それを話題に3分程度の面接を行う。
- ・資料は、掲示又は配布資料のいずれかとする。掲示資料は全紙サイズの模造紙1枚、配布資料はA4サイズ用の紙1枚とする。裏面は使用しないこと。

2 内 容

出願要件ア：各教科の学習，将来の進路，取得したい資格に関すること。

出願要件イ：芸術・文化活動，体育・スポーツ活動，生徒会活動，人権活動，ボランティア活動に関すること。

3 場 所

普通教室を使用する。

①教室の前半分を発表場所とする。(資料掲示用黒板，教卓，面接用椅子は常設)

②発表時に使用する指示棒，マグネットは本校において準備する。

4 注意事項

- ・発表は一人で行う。
- ・配布資料は5部準備する。
- ・発表分野等については，自己表現調査票に記載し出願時に提出する。

1 1 小松島高等学校

1 学校の特色

小松島高校は、昭和6年に開校し、平成22年には創立80年目を迎える伝統ある普通科高校で、豊かな実績に新たな理想を重ね、地域と共に歩み、地域の期待に応える「元気な学校」です。平成15年には校舎も改築され、快適な環境のもとですべてのことに「全力」で取り組んでいます。

進路指導においては、生徒の意欲を喚起し、国公立大学進学から就職まで個に応じた幅広い進路希望の実現に向け、一人ひとりのニーズに応えられるよう教育課程や選択科目にも工夫を持たせ、希望者には毎日補習を実施したり、進路や生活面での相談にも対応できる体制を組み、個々が描く「夢の実現」に向けた取り組みを行っています。

部活動においては、「努力、継続、絆」をモットーに、生徒は大変はつらつとし、活発に活動しています。毎年、四国大会や全国大会にも多くの部が出場し、実績を残しています。

また、生徒会を中心に小松島横須海岸の松原の管理をはじめとしたボランティア活動や、「小松島みなと交流センターkocolo」と連携した地域貢献型体験学習を推進しています。このように小松島高校は、生徒一人ひとりが主役で、学力と個性を伸ばし、たくましく生き抜く力が養える学校です。

2 志願してほしい生徒像

○基本的な生活習慣が確立しており、小松島高校を志望する動機と理由が明確であり、入学後も学業や部活動、ボランティア活動、人権活動、生徒会活動等に励み、人間的に成長しようとする意欲のある生徒。

○小松島高校での様々な体験を通じて、さらに自分の可能性に挑戦し、「夢の実現」に向けて積極的に努力のできる生徒。

○協調性があり、友人をはじめ、まわりの人々の気持ちを大切にし、行動のできる生徒。

3 出願要件

要件	出 願 要 件 内 容
ア	主体的に学び、更にその力を伸ばそうとする探求心を持ち、自己の進路実現に向け、学習活動全般にわたって意欲的・継続的に努力できる者。
イ	芸術・文化 [音楽 (吹奏楽・合唱), 美術, 書道, 琴], 体育・スポーツ [硬式野球, 男子サッカー, 新体操, ソフトボール, 硬式テニス, バレーボール, バスケットボール, 卓球, 剣道, 柔道], ボランティア活動, 人権活動, 生徒会活動のいずれかで積極的・継続的に活動し、優れた実績や資質を有し、入学後もそれらの活動に積極的に取り組もうとする者。

4 募集割合及び募集人員

学 科	募集割合 (学科の募集定員に占める割合)		
	出願要件ア	出願要件イ	前期募集割合
普通科	20%程度	10%程度	30%以内

出願要件イについては次に示した各分野・種目別の人数を募集の目安とします。

音楽（吹奏楽・合唱）、美術、書道、琴：4人程度、硬式野球：5人程度
 男子サッカー：3人程度、新体操：2人程度、ソフトボール・硬式テニス：1人程度
 バレーボール・バスケットボール・卓球：3人程度、剣道・柔道：2人程度
 ボランティア活動・人権活動・生徒会活動：1人程度
 注）募集定員・受検者数等により、変更することがあります。

5 出願書類（各高校個別の書類）

出願要件ア	なし
出願要件イ	①自己表現調査票、②中学校時代の学校内外の活動の記録

（注）すべて統一用紙を使用してください。

6 選抜資料

(1) 出願要件ア

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科、各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校における学習の内容を踏まえ、それを総合的、応用的に活用する力をみる問題を出題する。 数学：50分【配点：100点】 英語：50分【配点：100点】 計200点
面 接	個人面接（1人5分程度）

(2) 出願要件イ

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科、各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校における学習の内容を踏まえ、それを総合的、応用的に活用する力をみる問題を出題する。 数学：50分【配点：50点】 英語：50分【配点：50点】 計100点
自己表現	具体的内容については、別紙を参照のこと。
活動の記録	(a) 「活動名（分野、種目）」、「活動状況」、「主な実績・結果（各学年2つまで）」等を統一用紙に記入する。 (b) 個人の「活動状況」、「実績・結果」を示す書類（賞状、新聞記事等の写し）があればA4判サイズで添付すること。

7 日程
[第1日]

	出願要件ア		出願要件イ
8:30	集合（本校体育館）	8:30	集合（本校体育館）
8:40～9:00	諸連絡	8:40～9:00	諸連絡
9:20～10:10	数 学	9:20～10:10	数 学
10:30～11:20	英 語	10:30～11:20	英 語
11:30～12:20	昼食・休憩	11:30～12:20	昼食・休憩
12:20～12:35	諸連絡	12:20～12:50	更衣・移動
12:40～	面 接	13:00～	自己表現

8 携行品

- 受検票
- 筆記用具（鉛筆類、定規、コンパス、消しゴム、鉛筆削り、筆入れ）
- 体育館シューズ及び下足入れ袋
- 昼食、飲み物
- 出願要件イの受検者については、「自己表現」の時に必要な用具や作品・資料等

（注）筆記用具は、公式または法則等を記載したもの及び計算機付きのものは使用できません。
また、分度器（分度器付き定規を含む）、計算機、電訳機・計算機付き時計及び携帯電話などの移動通信機器、下敷きは検査場に持ち込めません。

（注）出願要件イの自己表現に必要な携行品は、別紙「自己表現の具体的内容」をご覧ください。

自己表現の具体的内容

- (1) 自己表現内容
志願者の体験、特技などに基づき、自己表現し、それを話題に面接を行う。
- (2) 時間
自己表現：5分程度（楽器の演奏、体育・スポーツの実技の準備も含む）
面接：個人面接で3分程度
- (3) 自己表現分野、実施場所、分野別検査内容、携行品

分 野		実施場所	検 査 内 容	携行品
芸 術 ・ 文 化	音 楽 (吹奏楽・合唱)	多目的教室	自分の得意な楽器の演奏、または、自分の得意な曲の歌唱(無伴奏)	楽器 譜面
	美 術	多目的教室	自分が制作した作品(5点まで)を持参し、口頭で解説及び実践してきたことを発表する	作品 資料等
	書 道	多目的教室	得意な書体で書いた半紙・条幅作品(5点まで)を持参し、提出する 当日渡される課題を半紙に書く	書道道具 作品
	琴	多目的教室	自分の得意な曲の演奏	琴爪 譜面
体 育 ・ ス ポ ー ツ	硬式野球	体 育 館	30m走、ハンドボール投げ	特になし
	男子サッカー	体 育 館	30m走 フィールドプレーヤー…ワンコントロールシュート ゴールキーパー…シュートセーブ	ボール
	新体操	体 育 館	長座体前屈 男子…後転跳びから、宙返り技 女子…基本要素(手具操作を含む)	女子は得意な手具
	ソフトボール	体 育 館	30m走 投手…ピッチング 野手…ティー台に置いたボールを打つ	グラブ バット
	硬式テニス	体 育 館	反復横跳び 球出しによるストローク及びボレー (フォア・バック)	ラケット
	バレーボール	体 育 館	立ち幅跳び パス及びレシーブ	ボール
	バスケットボール	体 育 館	反復横跳び 各種シュート	ボール
	卓 球	体 育 館	反復横跳び 攻撃型選手…サーブからの3球目攻撃 守備型選手…カット(ツッツキを含む)	ラケット
	剣 道	体 育 館	反復横跳び 中段の構えから打ち込み(基本打ち)	竹刀
	柔 道	体 育 館	反復横跳び 打ち込み	柔道着
ボランティア活動	多目的教室			
人権活動	多目的教室	活動内容について、実践してきたことを発表	資料等	
生徒会活動	多目的教室			

- ※ 美術、書道で持参する作品の裏面には受検番号を記入し、校長印を押印すること。
※ 硬式テニスの自己表現に使用するボールは硬式球、ソフトテニス球いずれでもよい。

- (4) 多目的教室、体育館において準備できるもの
- ア 多目的教室
・キーボード(音取り用)、琴、琴台、譜面台、プロジェクター、カセットデッキ、CDデッキ、VTR(VHS)付きテレビ、掲示白板、マグネット、書道用下敷き(大)、半紙等書道道具一式
- イ 体育館
・体育用マット(縦6m×横1.2m)2本、ソフトボール用ティー台、卓球台一式、生徒用の椅子・机
・ボール(ハンドボール、ソフトボール、硬式テニス、ソフトテニス、卓球)
- (5) 注意事項
- ア 自己表現の内容は、入学後も生かせるものが望ましく、出願時には統一用紙により申告すること。
- イ 発表に必要な道具類は、原則として受検者が用意する。用意できない場合には、在籍(出身)中学を通じて、本校まで問い合わせてください。
- ウ 体育・スポーツ分野については、携行品以外に体育時または競技用の服装、シューズ(体育館用)の準備をすること。

1 2 小松島西高等学校

1 学校の特色

- 商業、食物、生活文化、福祉の4学科を有する総合専門高校であり、高度な専門的知識・技術の習得、各種資格の取得を目指します。
- 社会人講師を招いての授業、体験学習、課題学習等を取り入れ、自ら考え・学び・体験する学習を推進します。
- 生徒一人一人の個性や能力を生かす教育を推進するとともに、知・徳・体の調和のとれた、社会に貢献できる人間を育成します。

2 志願してほしい生徒像

(1) 商業科

- 中学校の基礎・基本の学力を身につけ、コンピュータ、簿記会計等、ビジネスに関心が高く、明るく、社会性がある生徒。
- 商業に関する専門的知識や技術の習得、資格取得に強い意欲をもつ生徒。
- 商業科で習得した知識・技術を生かした進路を希望する生徒。
- 中学時代に、部活動、ボランティア活動、人権活動に積極的に取り組み、入学後も継続的に活動する生徒。

(2) 家庭科（食物科、生活文化科）

- 中学校の基礎・基本の学力を身につけ、各学科の学習や実習に積極的に取り組み、スペシャリストとして必要な専門的知識や技術の習得に意欲的な生徒。
- 各学科で実施する検定や資格取得に積極的に取り組む生徒。
- 各学科で習得した知識・技術を生かし、関連した就職や進学を希望する生徒。
- 中学時代に、部活動、ボランティア活動、人権活動に積極的に取り組み、入学後も継続的に活動する生徒。

(3) 福祉科

- 中学校の基礎・基本の学力を身につけ、社会福祉に関する分野に興味・関心が高く、他者に対する優しい心をもつ生徒。
- 入学後、資格試験取得の学習に真摯に取り組む生徒。
- 高齢者や障害者の日常生活の援助について学び、将来福祉に関連した就職や進学を希望する生徒。
- 中学時代に、部活動、ボランティア活動、人権活動に積極的に取り組み、入学後も継続的に活動する生徒。

3 出願要件

要件	学科	出 願 要 件 内 容
ア	商業	ビジネスに関する科目の学習に興味・関心があり、将来、簿記会計やコンピュータ等に関する資格や知識・技術を生かした進路を希望する者。
	食物	調理や栄養に興味・関心があり、料理や菓子作りをすることが好きで、将来、調理師の資格や調理についての知識・技術を生かした進路を希望する者。
	生活文化	アパレルに関して興味・関心があり、デザイン（CGを含む）、製図及び作品製作が好きで、将来、それらの知識・技術を生かした進路を希望する者。
	福祉	社会福祉や介護福祉等に興味・関心があり、将来、介護に関する資格や知識・技術を生かした進路を希望する者。
イ		人物が優れ、基礎学力があり、芸術・文化（吹奏楽、書道）、体育・スポーツ（野球、男子陸上競技（中・長距離、駅伝）、空手道）、ボランティア活動、人権活動のいずれかで、積極的、継続的に活動し、高校生活でそれをさらに伸ばそうとするとともに、志望学科の専門的知識・技術の習得に積極的な意欲をもち、それを生かした分野への進路を希望する者。
ウ		女子陸上競技（駅伝） ○県内高校陸上競技部の中で最大規模を誇る本校で3か年、中・長距離、駅伝にひたむきに取り組む者。 ○人物が優れ、基礎学力があり学習活動、学校行事に積極的に取り組み、自己の目標達成に向かい努力する者。 ○「駅伝で全国を制覇する」という目標のもと部の一員として練習に意欲的に取り組む者。 ○将来、県駅伝、社会人、都道府県大会等で活躍を目指している者。

4 募集割合及び募集人員

学 科	募集割合(学科の募集定員に占める割合)及び募集人員			
	出願要件ア	出願要件イ	出願要件ウ	前期募集割合
商 業 科	30%程度	15%程度	女子陸上競技（駅伝）3人程度	50%以内
食 物 科	35%程度	10%程度	女子陸上競技（駅伝）4人程度	50%以内
生活文化科	35%程度	10%程度	女子陸上競技（駅伝）1人程度	50%以内
福 祉 科	32%程度	12%程度	女子陸上競技（駅伝）2人程度	50%以内

5 出願書類（各高校個別の書類）

出願要件ア	①志望理由書
出願要件イ	①志望理由書、②自己表現調査票、③中学校時代の学校内外の活動の記録
出願要件ウ	①志望理由書、②中学校時代の学校内外の活動の記録

6 選抜資料

(1) 出願要件ア

①全学科（商業科，食物科，生活文化科，福祉科）

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科，各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校の基礎・基本的な学習内容の定着度をみる問題を出題する。 国語(作文を含む)：45分【配点：100点】 数学：45分【配点：100点】 計200点
面 接	個人面接（1人5分程度）

(2) 出願要件イ

①全学科（商業科，食物科，生活文化科，福祉科）

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科，各学年の評定を同等にみる。
作 文	与えられたテーマに基づいて，自分の考えをまとめる。 (45分600字)【配点：100点】
自 己 表 現	具体的項目については，別紙参照のこと。
活動の記録	「種目・分野名」，「活動状況」，「実績」などを記入する。 なお，「活動状況」，「実績」を示す書類（賞状，新聞記事，技能検定の証明などのコピー）があれば添付すること。

(3) 出願要件ウ

①全学科（商業科，食物科，生活文化科，福祉科）

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科，各学年の評定を同等にみる。
作 文	与えられたテーマに基づいて，自分の考えをまとめる。 (45分600字)【配点：50点】
面 接	個人面接（1人10分程度）
活動の記録	「種目・分野名」，「活動状況」，「実績」などを記入する。 なお，「活動状況」，「実績」を示す書類（賞状，新聞記事，技能検定の証明などのコピー）があれば添付すること。

7 日程
[第1日]

	出願要件ア		出願要件イ	出願要件ウ
8:30 ~ 9:00	受付 (本校体育館)	8:30 ~ 9:00	受付 (本校体育館)	
9:10 ~ 9:20	諸連絡	9:10 ~ 9:20	諸連絡	
9:40 ~ 10:25	国 語	9:40 ~ 10:25	作文	作文
10:45 ~ 11:30	数 学	10:45 ~	自己表現	面 接
11:30 ~ 12:25	昼 食			
12:35 ~	面 接			

8 携行品

- ・ 受検票
- ・ 筆記用具 (鉛筆類, 定規, コンパス, 消ゴム, 鉛筆削り, 筆入れ)
- ・ 上履き
- ・ 昼食

(注) 筆記用具は, 公式又は法則等を記載したもの及び計算機付きのものであってはならない。
 なお, 分度器 [分度器付き定規を含む], 計算機, 電訳機・計算機付き時計及び携帯電話などの移動通信機器は検査場への持ち込みは認めない。

(注) 出願要件イの自己表現に必要な携行品は, 別紙「自己表現の具体的内容」を見てください。

自己表現の具体的内容（出願要件イ）

- 1 自己表現内容
志願者の体験、特技などに基づき、自己表現し、それを話題に面接を行う。
- 2 時間
自己表現：吹奏楽は3分以内、吹奏楽以外は5分程度
面接：個人面接で5分程度
- 3 自己表現分野、実施場所、分野別検査内容、携行品

分野		実施場所	検査時間	検査内容	携行品
芸術 ・ 文化	吹奏楽	視聴覚室	8分程度	<ul style="list-style-type: none"> ・吹奏楽で使用する楽器の演奏（自由曲3分以内）。事前に練習時間を設ける（視聴覚室で30分程度）。 ・その後、面接（5分程度）を行う。 	演奏に使用する楽器、楽譜（2部）
	書道	書道室	10分程度	<ul style="list-style-type: none"> ・当日渡される課題を半紙に書く（5分程度）。半紙は本校で準備する。 ・その後、面接（5分程度）を行う。 	書道道具
体育 ・ スポーツ	野球 男子陸上競技 空手道	福祉棟	10分程度	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校時代の活動実績や高校入学後の活動への抱負について、口頭で自己アピール（5分程度）。（実技は行わない） ・その後、面接（5分程度）を行う。 	特になし
ボランティア活動		福祉棟	10分程度	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校時代の活動実績や高校入学後の活動への抱負について、口頭で自己アピール（5分程度）。 ・その後、面接（5分程度）を行う。 	発表に必要であれば事前に作成した模造紙を用いてもよい。
人権活動		福祉棟	10分程度	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校時代の活動実績や高校入学後の活動への抱負について、口頭で自己アピール（5分程度）。 ・その後、面接（5分程度）を行う。 	発表に必要であれば事前に作成した模造紙を用いてもよい。

4 注意事項

- (1) 自己表現の内容は、出願時に「自己表現調査票」（様式11号）により申告すること。
- (2) 発表に必要な道具類は、原則として受検者が準備する。用意できない場合、また、不明な場合は、在籍（出身）中学校を通じて、本校まで問い合わせること。
- (3) ボランティア活動・人権活動における自己表現については、パソコン等の機器を用いた発表は認めない。模造紙を貼るためのマグネットは、本校で準備する。

13 勝浦高等学校

1 学校の特徴

- 小規模校の特性を生かし、一人ひとりの生徒にきめ細かく対応します。
地域の素材を資産として農業及び人間生活に関する学習をとおして問題解決能力を養い、農業の充実と社会の発展を図る創造的、実践的な態度や能力を身につけた人間を育てます。
- 【応用生産科】コンピュータを利用したIT農業経営やLED活用農業についての基本的な知識や技術を身につけるとともに、一人ひとりの進路実現を目指します。また、各種資格の取得ができます。
- 【園芸福祉科】地域との交流学习をとおして生活の質の向上や健康の改善を図るための基本的な知識や技術を身につけるとともに、一人ひとりの進路実現を目指します。また、各種資格の取得ができます。
- 「勝浦塾」「総合的な学習の時間」を中心に、望ましい職業観・勤労観を身につけることにより、将来を見据えた進路の決定を支援します。
*「勝浦塾」とは、本校の実態にあわせた就業体験システムのことです。

2 志願してほしい生徒像

- 農業や環境・人間生活そして日々の「食」に興味・関心を持ち、本校入学後は熱意を持って学習に取り組むことができる生徒で、次のいずれかに該当する者。
- 目的意識を持ち、農業に関する専門的・先端的な知識・技能の習得を強く望み、進学・就職に向けて継続的に努力する生徒。
- 中学時代に、部活動、ボランティア活動、人権活動において中心的に取り組み、本校入学後もこれらの活動に積極的にかかわっていく意志のある生徒。

3 出願要件

要件	学科	出 願 要 件 内 容
ア	応用生産	○コンピュータを利用したIT農業経営やLED活用農業、また、植物バイオテクノロジーの学習に興味・関心があり、将来その知識・技能を生かした進路をめざす者。 ○農業実習、園芸を通じた地域との交流活動や自然保護活動に積極的に参加する者。
	園芸福祉	○草花などの栽培を中心とした園芸活動、また、それを利用した地域の活性化や生きがいづくりの学習に興味・関心があり、将来その知識・技能を生かした進路をめざす者。 ○農業実習、園芸を通じた地域との交流活動や自然保護活動に積極的に参加する者。
イ		○中学校の部活動で中心的な役割を果たし、本校入学後は民芸、バイテク、硬式野球、ライフル射撃のいずれかの分野で積極的・継続的に活動する者。 ○中学校でボランティア活動、人権活動の分野で中心的な役割を果たし、本校入学後もこれらいずれかの活動において、積極的・継続的に活動する者。

4 募集割合及び募集人員

学 科	募集割合(学科の募集定員に占める割合)		
	出願要件ア	出願要件イ	前期募集割合
応用生産科	30%程度	20%程度	50%以内
園芸福祉科	30%程度	20%程度	50%以内

5 出願書類(各高校個別の書類, ☆印のついた書類は学校独自様式)

出願要件ア	①志望理由書
出願要件イ	①志望理由書, ②☆自己表現調査票

6 選抜資料

(1) 出願要件ア

① 応用生産科

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科, 各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校の学習内容を踏まえ, 基礎学力の定着を問う。 総合問題: 50分 【配点: 100点】
面 接	個人面接(1人5分程度)を行う。

② 園芸福祉科

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科, 各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校の学習内容を踏まえ, 基礎学力の定着を問う。 総合問題: 50分 【配点: 100点】
面 接	個人面接(1人5分程度)を行う。

(2) 出願要件イ

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科, 各学年の評定を同等にみる。
作 文	与えられたテーマに基づいて, 自分の考えをまとめる。 (40分 400字以上600字以内) 【配点: 50点】
自己表現	具体的内容については, 別紙「自己表現の具体的内容」を参照のこと。

7 日程
[第1日]

	出願要件ア		出願要件イ
	応用生産科 園芸福祉科		応用生産科 園芸福祉科
8:30	集合(本校体育館)	8:30	集合(本校体育館)
8:30~8:50	諸連絡	8:30~8:50	諸連絡
9:10~10:00	総合問題	9:10~9:50	作文
10:15~	面接	10:05~	自己表現

8 携行品

- ・ 受検票
- ・ 筆記用具(鉛筆類, 消しゴム, 鉛筆削り, コンパス, 定規, 筆入れ)
- ・ 上履き
- ・ 弁当(必要な者)
- ・ 自己表現に必要なもの(出願要件イで受検の者)

(注) 筆記用具は, 公式又は法則等を記載したもの及び計算機付きのものであってはならない。
分度器〔分度器付き定規を含む〕, 計算機, 電訳機・計算機付き時計及び携帯電話などの
移動通信機器は検査場に持ち込めない。

(注) 出願要件イの自己表現に必要な携行品は, 別紙「自己表現の具体的内容」を見てください。

自己表現の具体的内容

1 自己表現内容

志願者の体験・実技などにに基づき自己表現し、それを話題に面接を行う。

2 時間

自己表現：意見発表については5分以内

面接：5分程度

3 自己表現分野、実施場所、自己表現内容

分 野		実施場所	内 容	携行品
芸術 ・ 文化	民 芸	体 育 館	○人形浄瑠璃体験又は人形浄瑠璃の見聞に基づく意見発表	自己表現上必要となるもの
体 育 ・ ス ポ ー ツ	硬 式 野 球	体 育 館	○野球・ソフトボール体験に基づく意見発表 ○背筋力，垂直跳び，反復横跳び	体操服， 体育館シューズ 自己表現上必要となるもの
	ライフル射撃	体 育 館	○射撃体験に基づく意見発表 ○背筋力，垂直跳び，反復横跳び	体操服， 体育館シューズ 自己表現上必要となるもの
そ の 他	バ イ テ ク	体 育 館	○農業体験又は生物・化学分野の研究や調査に基づく意見発表	自己表現上必要となるもの
ボランティア活動		体 育 館	○活動体験に基づく意見発表	自己表現上必要となるもの
人 権 活 動				

4 本校が準備するもの

(1) 意見発表について：ホワイトボード，マグネット，指示棒

5 注意事項

- (1) 自己表現の内容は，出願時に本校で準備する「自己表現調査票」により申告すること。
- (2) 意見発表は全受検者が行うこと。
- (3) 意見発表に必要な道具類は，原則として受検者が用意すること。
用意できない場合には，在籍(出身)中学校を通じて，出願までに本校まで問い合わせること。
- (4) 出願要件イの体育・スポーツ分野で受検する場合には，体操服，体育館シューズ等の準備をすること。
- (5) 意見発表において模造紙を使用する場合は，1枚にまとめること。
なお，模造紙以外の発表原稿の持ち込みやコンピュータを使用した意見発表は行わないこと。
- (6) 実施場所を変更する場合があります。

14 富岡東高等学校

1 学校の特徴

- ・自ら学び自ら考える力を育てる授業をおこない、きめ細かな指導のもと、基礎力や応用力を養います。
- ・普通科においては文系と理系、商業科においては進学と就職、それぞれの進路に応じた科目が選択できます。
- ・自己を理解するための学習活動を充実し、適性に合った進路を見つけ、その実現をめざすキャリアデザイン(進路設計)能力を育成します。
- ・「さわやかで活力あふれる富東」を合い言葉に、部活動、ボランティア活動、人権活動を推進し、社会の変化に対応できる、知・徳・体の調和のとれた人間を育てます。

2 志願してほしい生徒像

(1) 普通科

- ・本校の特色をよく理解し、さまざまな分野に対して意欲的に、粘り強く取り組むことができる生徒。
- ・英語・数学にすぐれた資質や能力を持ち、自主的に継続して学習に取り組み、進路の実現をめざして努力できる生徒。
- ・部活動、ボランティア活動、人権活動に積極的に取り組み、学業との両立をめざして努力できる生徒。

(2) 商業科

- ・本校の特色をよく理解し、さまざまな分野に対して意欲的に、粘り強く取り組むことができる生徒。
- ・英語・数学にすぐれた資質や能力を持ち、ビジネス社会に必要な学習に意欲的に取り組み、進路の実現をめざして努力できる生徒。
- ・部活動、ボランティア活動、人権活動に積極的に取り組み、学業との両立をめざして努力できる生徒。

3 出願要件

要件	学科	出 願 要 件 内 容
ア	普通	英語・数学にすぐれた資質や能力を持ち、主体的に継続して学習に取り組み、さまざまな分野に対して探究心の旺盛な者。
	商業	英語・数学にすぐれた資質や能力があり、今日のビジネス活動や地域社会への貢献に関心を持って商業科目の学習に積極的に取り組み、各種競技会や高度な資格取得にチャレンジする者。
イ		体育・スポーツ(女子ソフトテニス、女子駅伝、女子バレーボール、男子サッカー)、音楽(合唱)、書道、美術、ボランティア活動、人権活動のいずれかで積極的に継続して活動し、高校入学後もそれをさらに発展させる意欲を持つ者。
ウ		女子剣道および女子バスケットボールの競技において、すぐれた資質や能力を持ち、高校入学後も積極的に継続して活動する者。そして、その能力をさらに発展させ、全国大会においても、上位をめざして活躍しようとする強い意欲を持つ者。

4 募集割合及び募集人員

学 科	募集割合(学科の募集定員に占める割合)及び募集人員			
	出願要件ア	出願要件イ	出願要件ウ	前期募集割合
普通科	23%程度	4%程度	女子剣道3人程度 女子バスケットボール3人程度	30%以内
商業科	30%程度	10%程度	女子剣道2人程度 女子バスケットボール2人程度	50%以内

出願要件イについては次に示した各分野・種目別の人数を募集の目安とします。
 女子ソフトテニス：3人程度，女子駅伝：3人程度，女子バレーボール：3人程度，
 男子サッカー：1人程度，
 音楽（合唱）・書道・美術・ボランティア活動・人権活動：5つの分野で1人程度
 注）募集定員・受検者数等により，変更することがあります。

5 出願書類（各高校個別の書類）

出願要件ア	なし
出願要件イ	①中学校時代の学校内外の活動の記録（添付書類は上位2つのコピーでよい）
出願要件ウ	①中学校時代の学校内外の活動の記録（添付書類は上位2つのコピーでよい）

6 選抜資料

(1) 出願要件ア

①普通科

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科の評定を同等にみる。第3学年の評定を重視する。
教科の検査	中学校の学習内容を踏まえ，基礎力の定着度と応用力をみる問題を出題する。 数学：50分【配点：100点】 英語：50分【配点：100点】 計200点
作 文	与えられた条件に従って，自分の考えをまとめる。 （50分600字）【配点：30点】

②商業科

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科の評定を同等にみる。第3学年の評定を重視する。
教科の検査	中学校の学習内容を踏まえ，基礎力の定着度と応用力をみる問題を出題する。 数学：50分【配点：100点】 英語：50分【配点：100点】 計200点
作 文	与えられた条件に従って，自分の考えをまとめる。 （50分600字）【配点：30点】

(2) 出願要件イ

①普通科

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科の評定を同等にみる。第3学年の評定を重視する。
教科の検査	中学校の学習内容を踏まえ、基礎力の定着度と応用力をみる問題を出題する。 数学：50分【配点：100点】 英語：50分【配点：100点】 計200点
作 文	与えられた条件に従って、自分の考えをまとめる。 (50分600字)【配点：30点】
面 接	個人面接（1人7分程度）
活動の記録	「種目・分野」、「活動状況」、「実績」などを記入する。なお、できる限り「活動状況」、「実績」を示す書類を添付すること。

②商業科

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科の評定を同等にみる。第3学年の評定を重視する。
教科の検査	中学校の学習内容を踏まえ、基礎力の定着度と応用力をみる問題を出題する。 数学：50分【配点：100点】 英語：50分【配点：100点】 計200点
作 文	与えられた条件に従って、自分の考えをまとめる。 (50分600字)【配点：30点】
面 接	個人面接（1人7分程度）
活動の記録	「種目・分野」、「活動状況」、「実績」などを記入する。なお、できる限り「活動状況」、「実績」を示す書類を添付すること。

(3) 出願要件ウ

①普通科

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科の評定を同等にみる。第3学年の評定を重視する。
作 文	与えられた条件に従って、自分の考えをまとめる。 (50分600字)【配点：30点】
面 接	個人面接（1人15分程度）
活動の記録	「種目・分野」、「活動状況」、「実績」などを記入する。なお、「活動状況」、「実績」を示す書類を必ず添付すること。

②商業科

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科の評定を同等にみる。第3学年の評定を重視する。
作 文	与えられた条件に従って、自分の考えをまとめる。 (50分600字)【配点：30点】
面 接	個人面接(1人15分程度)
活動の記録	「種目・分野」、「活動状況」、「実績」などを記入する。なお、「活動状況」、「実績」を示す書類を必ず添付すること。

7 日程

[第1日]

	出願要件ア		出願要件イ		出願要件ウ	
	普通科	商業科	普通科	商業科	普通科	商業科
8:30	集 合 (本校体育館)					
8:40 ~ 9:00	諸 連 絡					
9:20 ~ 10:10	作 文					
10:30 ~ 11:20	数 学				面 接	
11:40 ~ 12:30	英 語					
13:40 ~			面 接			

※出願要件イは午後から面接があります。

8 携行品

受検票, 筆記用具 (鉛筆類, 定規, コンパス, 消しゴム, 鉛筆削り, 筆入れ), 腕時計, 上履き, 弁当 (出願要件イのみ)

(注) 筆記用具は, 公式または法則等を記載したものおよび計算機付きのものであってはならない。なお, 分度器(分度器付き定規を含む), 計算機, 電訳機・計算機付き時計および携帯電話などの移動通信機器は認めない。

15 富岡東高等学校羽ノ浦校

1 学校の特色

- ① 高等学校看護科とその専攻科において、5年一貫教育を行い、看護師免許（国家資格）の取得をめざします。
- ② 地域社会や保健・医療・福祉等の関連機関と連携を図り、調和のとれた豊かな人間性をもつ専門職業人を育てます。
- ③ 少人数指導や外来講師の授業を導入し、基礎学力の定着を図るとともに、看護職にふさわしい実力を養います。

2 志願してほしい生徒像

- ・看護に強い関心があり、看護師をめざし5年間継続して努力できる生徒。
- ・生命（いのち）の尊さを理解し、相手の立場にたって物事を考えられる生徒。
- ・英語・数学にすぐれた資質・能力を有し、看護に関する必要な知識や技術を吸収しようとする気持ちをもっている生徒。
- ・自己の健康管理ができ、病院等での実習に意欲的に取り組める生徒。
- ・人の話をよく聴くことやあいさつができ、マナーが守れる生徒。

3 出願要件

要件	出 願 要 件 内 容
ア	英語・数学にすぐれた資質・能力を有し、保健・医療・福祉に関心があり、看護師免許（国家資格）の取得をめざし、5年間継続して努力できる者。

4 募集割合及び募集人員

学 科	募集割合(学科の募集定員に占める割合)		
	出願要件ア	出願要件イ	前期募集割合
看護科	50%以内	—	50%以内

5 出願書類（各高校個別の書類）

出願要件ア	①志望理由書
-------	--------

6 選抜資料

(1) 出願要件ア

選 抜 資 料	内 容
調 査 書	各教科の評定を同等にみる。第3学年の評定を重視する。
教科の検査	中学校の学習内容を踏まえ、基礎力の定着度と応用力をみる問題を出題する。 数学：50分【配点：100点】 英語：50分【配点：100点】 計200点
作 文	与えられた条件に従って、自分の考えをまとめる。 (50分、600字)【配点：50点】
面 接	個人面接（1人5分程度）

7 日程
[第1日]

	出願要件ア 看護科
8:30	集 合 (普通科・商業科と同じ本校体育館)
8:40～ 9:00	諸 連 絡
9:20～10:10	作 文
10:30～11:20	数 学
11:40～12:30	英 語
13:40～	面 接

8 携行品

受検票, 筆記用具 (鉛筆類, 定規, コンパス, 消しゴム, 鉛筆削り, 筆入れ), 腕時計, 上履き, 弁当

(注) 筆記用具は, 公式又は法則等を記載したもの及び計算機付きのものであってはならない。
なお, 分度器 (分度器付き定規を含む), 計算機, 電訳機・計算機付き時計及び携帯電話などの移動通信機器は認めない。

16 富岡西高等学校

1 学校の特徴

本校は、明治29年に県南地域の大きな期待を担って創立され、今日まで113年の歴史を刻んできました。この間、常に地域の期待に応え、卒業生は、県内はもとより日本各地や世界各国で活躍し、各方面において多大な足跡を残しています。

平成21年度より普通科に加え、理数科が設置され、それぞれの学科の特性を生かし、また「伝統と歴史」に立脚しながらも、それに甘んずることなく、「伝統と新風」をスローガンとして、全ての生徒の可能性を最大限に引き出す教育活動を展開しています。

具体的には

- ① 「普通科」においては、2年次より理系・文系に分かれ「進学型単位制高校」の特長を生かした幅広い科目選択を可能にしています。
- ② 「理数科」においては、将来の理系方面への進路を踏まえ、理数科目の充実した授業をおこなっています。
- ③ 「学力向上」に関しては、授業力向上に向けての相互授業参観の工夫、生徒による授業評価とその活用、土曜補習、放課後学習の実施、週末課題の推進、富西Compass（隔週確認テスト）などで大きな成果をあげています。
- ④ 「部活動」では、運動部において、男子は、剣道部・弓道部・ホッケー部が、また女子は、新体操部が全国大会出場を果たす活躍をしています。文化部においても、吹奏楽部・書道部・文芸部・美術部が全国大会への出場や全国レベルでの受賞を果たしています。

2 志願してほしい生徒像

(1) 普通科、理数科に共通する生徒像

- ① 『富西で学びたい』という「強い意志とチャレンジ精神」を持った生徒。
- ② 富西で友達との「友情」を育み、ともに支え合い向上しようとする「豊かな人間関係」を育みたい生徒。
- ③ 自らの「夢」の実現に向かって最後まであきらめずに努力する生徒。
- ④ 中学校における「基礎的、基本的な学力」を身に付けた生徒。

(2) 普通科に志願して欲しい生徒像

- ① 現時点では、文系か理系かなど、将来進みたい分野は未定だが、富西において積極的に学習に取り組み、その中で進路を決定していこうという生徒。
- ② 部活動やボランティア活動のみならず、教科の学習に積極的に取り組み、真の文武両道をめざして頑張っていこうという生徒。

(3) 理数科に志願して欲しい生徒像

- ① 理数系の教科に対する興味関心や知識欲が旺盛で、将来は、理系分野（医学・歯学・薬学・理学・工学・農学など）を中心に上級学校に進学しようという明確な意志を持った生徒。
- ② 将来は、習得した専門知識や技能を活かし、積極的に社会貢献したいという意欲を持った生徒。

両学科とも、「富西で頑張るんだ」という『元氣』で『やる氣』を持った『根氣』強い生徒の皆さんに志願して欲しいと願っています。

3 出願要件

要件	学科	出 願 要 件 内 容
ア	普通	中学校での学習活動にすぐれた成果をおさめ、高校での学習にも積極的に取り組み、自己の進路の実現に向けて努力できる者。
	理数	中学校での学習活動にすぐれた成果をおさめ、高校での学習にも積極的に取り組むことができる者。 特に、数学や理科などに興味・関心を持ち、将来それを生かして自己の進路を実現し、専門分野において社会で活躍したいという希望をもつ者。
イ		中学校で学習活動に熱心に取り組むとともに、次の分野のいずれかですぐれた成績を修め、高校でも、学習と両立させてその活動を継続する意志のある生徒。 ①芸術・文化（吹奏楽・書道） ②体育・スポーツ（男女剣道、男女バレーボール、硬式野球、女子新体操） ③ボランティア活動、人権活動、生徒会活動

4 募集割合及び募集人員

学 科	募集割合(学科の募集定員に占める割合)		
	出願要件ア	出願要件イ	前期募集割合
普通科	22%程度	8%程度	30%以内
理数科	50%以内	—	50%以内

出願要件イについては、次に示した各分野の人数を募集の目安とします。

体育・スポーツ（野球・男女剣道・男女バレーボール・女子新体操）：13人程度

芸術・文化（吹奏楽・書道）、ボランティア活動、人権活動、生徒会活動：3人程度

(注) 出願要件イの各分野の募集目標人数については、10月末に徳島県教育委員会が本校の入学定員を発表した後、変更する場合があります。ただし、実際の合格者数については、出願状況や選抜資料の結果に応じて変化するので、必ずしも募集目標人数と一致するものではありません。

5 出願書類（各高校個別の書類）

出願要件ア	本校個別の書類はなし
出願要件イ	①自己表現調査票、②中学校時代の学校内外の活動の記録

6 選抜資料

(1) 出願要件ア

①普通科

選抜資料	内 容
調 査 書	各教科の評定を同等に見る。第3学年の評定を重視する。
教科の検査	中学校の学習内容をふまえ、基礎学力を総合的に活用する力を問う。なお、英語については、リスニングテストを含める。 英 語：55分 【配点：100点】 数 学：50分 【配点：100点】 計200点
作 文	適切なことばを使って自分の考えをまとめ表現するための課題を与える。 (40分400字)【配点：30点】

②理数科

選抜資料	内 容
調 査 書	各教科の評定を同等に見る。第3学年の評定を重視する。
教科の検査	中学校の学習内容をふまえ、基礎学力を総合的に活用する力を問う。なお、英語については、リスニングテストを含め、数学については、応用力を問う問題も含める。 英 語：55分 【配点：100点】 数 学：50分 【配点：100点】 計200点
作 文	適切なことばを使って自分の考えをまとめ表現するための課題を与える。 (40分400字)【配点：30点】

(2) 出願要件イ

①普通科

選抜資料	内 容
調 査 書	各教科の評定を同等に見る。第3学年の評定を重視する。
教科の検査	中学校の学習内容をふまえ、基礎学力を総合的に活用する力を問う。なお、英語については、リスニングテストを含める。 英 語：55分 【配点：50点】 数 学：50分 【配点：50点】 計100点
自己表現	具体的内容については、別紙を参照のこと。
活動の記録	「種目」、「活動内容」、「実績」などを記入する。なお、ボランティア活動、人権活動、生徒会活動については、「実績」を示す書類（賞状、大会申込み用紙、新聞記事、中学校長の活動証明書等）があれば、そのコピーを添付すること。

7 日程

[第1日]

	出願要件ア		出願要件イ
	普通科	理数科	普通科
8:30	集 合 (本校体育館)		
8:30~ 9:00	受付, 日程説明, 注意等諸連絡		
9:20~10:15	英 語 (55分)		
10:35~11:25	数 学 (50分)		数 学 (50分)
11:45~	作 文 (40分) ~12:25		昼 食 (45分) ~12:30
12:30~13:00	/		受付, 日程説明, 注意等諸連絡
13:00~			自己表現

8 携行品

①出願要件ア・イ（共通）

受検票，筆記用具（鉛筆類，定規，コンパス，消しゴム，鉛筆削り），上履き

（注）筆記用具は，公式又は法則等を記載したもの及び計算機付きのものであってはならない。なお，分度器（分度器付き定規を含む），計算機，電訳機，計算機付き時計及び携帯電話などの移動通信機器は認めない。

②出願要件イ

昼食

自己表現に必要な携行品は，別紙「自己表現の概要」を見てください。

自己表現の概要

(1) 内容

特技の表現と面接

(2) 特技の分野及び各実施場所・実施内容等

分野	実施場所	内 容	個人で用意するもの	本校が貸し出すもの	
芸術・文化	吹奏楽	表現：音楽室 チューニング・音出し：教室	自分の得意な楽器（管・打楽器，コントラバス）の演奏 曲目自由，演奏時間5分以内	演奏する楽器 演奏する楽譜 楽譜のコピー	大型の打楽器 譜面台 チューナー
	書道	書道室	毛筆：指定された文字（漢字4字） を半紙に楷書と行書で書く。	半紙，墨液，筆	下敷，文鎮，硯
体育・スポーツ	剣道	武道館	切り返し（9本×2回） 基本打ち（面，小手，胴，小手面など） 地稽古（2分×2回）	竹刀，剣道着 はかま， 防具一式	/
	新体操	体育館 （フロアーマットなし）	自分の得意な手具の個人演技 （1分30秒以内）	MD・カセットテープ， 手具，レオタード又は体操服，ヘアシューズ	プレーヤー
	バレーボール	体育館	パス，スパイク，サーブ等	バレーボールシューズ （体育館シューズ）， トレーニングウェア，サポーター	5号ボール
	野球	グラウンド （雨天時は体育館）	ソフトボール投げ，50m走，立ち幅跳び， 反復横跳び，20mシャトルラン 雨天時：ハンドボール投げ，20m走，立ち幅跳び， 反復横跳び，20mシャトルラン	運動靴 （雨天時は体育館シューズ）， トレーニングウェア	/
ボランティア	教室	活動内容についての意見発表 （1人5分以内）	/	OHPプレゼンター	
人権	教室	活動内容についての意見発表 （1人5分以内）	/	OHPプレゼンター	
生徒会	教室	活動内容についての意見発表 （1人5分以内）	/	OHPプレゼンター	

(3) 注意事項

- ①自己表現に必要な道具類は，原則として受検者が用意する。用意できない場合には，在籍（出身）中学校を通じて，本校まで問い合わせること。
- ②天候および受検者数により，内容に多少変更がある場合がある。
- ③自己表現（特技）の内容は，出願時に別紙自己表現調査票により申告すること。
- ④自己表現を受ける者は，昼食を準備しておくこと。
- ⑤防寒具は，各自用意すること。

17 阿南工業高等学校

1 学校の特色

- 工業類で入学し、1年間工業の基礎について学習した後、2年生からそれぞれの能力や適性、進路の希望に応じてコース選択をする類・コース制の学校です。
- 生徒たちの学びたいニーズに応えるため、多くの選択科目を設定し、自由に選べるようになっています。
- 技術系の大学への進学をサポートするコースとして、理数コースがあります。
- 学校行事や部活動、インターンシップ（就業体験）など、生徒たちが成長できるメニューをたくさん用意しています。

2 志願してほしい生徒像

- ものづくりが好きで、本校で学んだ工業の知識や技術を活かし、就職をしたいと考えている生徒。
- 工業の知識や技術に強い関心を持ち、進学してさらにその力を伸ばしたいと考えている生徒。
- 在学中に資格をたくさん取りたいと考えている生徒。また、高度な資格にチャレンジしたい生徒。
- 中学校時代に部活動・生徒会活動・ボランティア活動などで活躍し、高校入学後も続けて活動できる生徒。

3 出願要件

要件	出 願 要 件 内 容
ア	基礎学力と学習意欲があり、入学後も積極的に学習活動に取り組める生徒。また、将来は、本校で学んだ知識や技術を活かし、企業などの技術者・技能者になりたいと思っている生徒。
イ	芸術・文化活動(音楽)、体育・スポーツ活動(剣道、ソフトテニス、バレーボール、野球)、ボランティア活動、人権活動、その他の活動(生徒会)において優れた実績があり、入学後も継続し、3年間活動する生徒。また、学習面でも地道に努力する生徒。
ウ	3年間運動部活動に所属し、継続して活動した生徒で、ホッケー競技に関心を持ち、入学後はホッケー部の中心選手として3年間活動する生徒。また、学習面でも地道に努力する生徒。

4 募集割合及び募集人員

学 科	募集割合(学科の募集定員に占める割合)及び募集人員			
	出願要件ア	出願要件イ	出願要件ウ	前期募集割合
工業類	23%程度	18%程度	男子ホッケー11人程度	5.0%以内

5 出願書類(各高校個別の書類)

出願要件ア	なし
出願要件イ	①中学校時代の学校内外の活動の記録
出願要件ウ	①中学校時代の学校内外の活動の記録

6 選抜資料

(1) 出願要件ア

選抜資料	内 容
調 査 書	各教科，各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校の学習内容(特に，数学，理科(第1分野)，技術・家庭(技術分野))を踏まえ，それを総合的に活用する基礎的な問題を出題する。 総合問題：50分【配点：100点】
面 接	中学校生活に関することや志望の動機などを聞く個人面接（1人8分程度）

(2) 出願要件イ

選抜資料	内 容
調 査 書	各教科，各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校の学習内容(特に，数学，理科(第1分野)，技術・家庭(技術分野))を踏まえ，それを総合的に活用する基礎的な問題を出題する。 総合問題：50分【配点：100点】
面 接	活動の記録をもとに目的意識や意欲などを聞く個人面接（1人8分程度）
活動の記録	「種目・分野名」，「活動状況」，「実績」などを記入する。「活動状況」，「実績」を示す書類(賞状，新聞記事のコピー)については，提出しなくてよい。

(3) 出願要件ウ

選抜資料	内 容
調 査 書	各教科，各学年の評定を同等にみる。
教科の検査	中学校の学習内容(特に，数学，理科(第1分野)，技術・家庭(技術分野))を踏まえ，それを総合的に活用する基礎的な問題を出題する。 総合問題：50分【配点：50点】
面 接	活動の記録をもとに目的意識や意欲などを聞く個人面接（1人10分程度）
活動の記録	「種目・分野名」，「活動状況」，「実績」などを記入する。なお，「活動状況」，「実績」を示す書類(賞状，新聞記事のコピー)については，提出しなくてよい。

7 日程

[第1日]

	出願要件ア・イ・ウ
10:30	集合(本校体育館)
10:35~10:55	諸 連 絡
11:10~12:00	総 合 問 題
12:00~12:50	昼 食 ・ 休 憩
13:00~	面 接

8 携行品

受検票，筆記用具(鉛筆類・定規・コンパス・消しゴム・鉛筆削り・筆入れ)，弁当
 (注)筆記用具は，公式又は法則等を記載したもの及び計算機付きのものであってはならない。
 分度器 [分度器付き定規を含む]，下敷き，計算機，電訳機・計算機付き時計及び携帯電話などの移動通信機器は検査場に持ち込めない。